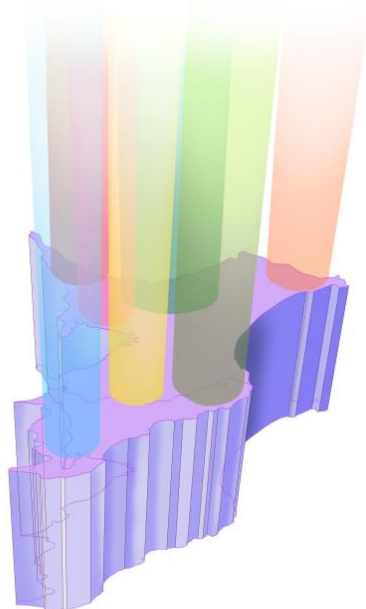




# 県立学校改革推進プランに係る評価

(令和2年度再編実施分)



令和5年11月

教育政策課



# — 目 次 —

I	評価の概要	
1	評価の目的	1
2	評価の進め方	1
3	評価対象	2
4	再編区分とスケジュール	3
II	評価	
1	普通科及び普通系専門学科・コース	
(1)	医療コースの設置	5
(2)	保育基礎コースの設置	8
2	職業系専門学科・コース	
(1)	ものづくりコースの設置	11
(2)	工業基礎コースの設置	14
(3)	福祉コースの設置	17
3	令和2年度再編実施分プラン評価のまとめ	20
III	資料	
1	普通科及び普通系専門学科・コース	
(1)	医療コースの設置	24
(2)	保育基礎コースの設置	28
2	職業系専門学科・コース	
(1)	ものづくりコースの設置	31
(2)	工業基礎コースの設置	34
(3)	福祉コースの設置	37
3	外部関係団体の意見	40
4	基礎データ	49
IV	その他	
	再編校の追跡調査について	54

# 県立学校改革推進プランに係る評価（令和２年度再編実施分）

## I 評価の概要

### 1 評価の目的

県立学校改革推進プラン（以下「プラン」という）の実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある県立学校づくりを推進するとともに、今後の高校改革に係る計画の策定に資することを目的として評価を実施します。

### 2 評価の進め方

#### （１）調査の時期

県立高校再編の実施年度から３年が経過し、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら評価を取りまとめます。

定時制・通信制高校においては、４年が経過するまでの卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行います。

#### （２）アンケート調査、聴き取り調査等の実施

ア 再編実施校の生徒及び保護者を対象に、アンケート調査を実施します。  
コース設置の場合にはコース選択者以外にも抽出してアンケート調査を実施します。

イ 再編実施校を訪問して、聴き取り調査を実施します。

ウ 再編実施校の近隣中学校にアンケート調査を実施します。

#### （３）評価の作成

ア 調査結果は「普通科及び普通系専門学科・コース」「職業系専門学科・コース」「総合学科」「社会のニーズに対応した教育」「県立学校の適正規模・適正配置」（「全日制高校の配置」及び「定時制・通信制高校の配置」）の再編種別に大別・整理して、取りまとめを行います。

イ 取りまとめた調査結果について、教育関係団体、産業関係団体、その他外部関係団体から意見聴取を実施します。

ウ 意見聴取等を踏まえ、再編種別ごとに「成果と課題」及び「今後の取組の方向性」について取りまとめます。

#### （４）評価の公表

評価結果については、千葉県教育委員会のホームページで公表します。

### 3 評価対象（令和2年度再編実施分）

#### （1）普通科及び普通系専門学科<sup>※1</sup>・コース<sup>※2</sup>

- ア 医療コースの設置（成田北高校）
- イ 保育基礎コースの設置（四街道北高校）

#### （2）職業系専門学科・コース

- ア ものづくりコースの設置（姉崎高校）
- イ 工業基礎コースの設置（天羽高校）
- ウ 福祉コースの設置（犢橋高校）

---

※1 専門学科：専門教育を主とする学科であり、25 単位以上の専門科目を履修する必要がある。

※2 コース：生徒の特性、進路等に応じ、学習計画に計画性、継続性を持たせるため、学校が独自に各教科・科目をあらかじめ配列したもの。

#### 4 再編区分とスケジュール

再編年度	評価年度	普通科及び普通系専門学科 ・コース	職業系専門学科・コース	総合学科	社会のニーズに対応した教育	全日制高校の配置	定時制・通信制高校の配置
H24	H26				泉 ・地域連携アクティブスクール 天羽 ・地域連携アクティブスクール		
H25	H27	柏井 ・国際コミュニケーションコース	松戸向陽 ・福祉教育拠点校 ・福祉コース				
H26	H28	千葉女子 ・教員基礎コース 東葛飾 ・医歯薬コース 佐倉 ・理数科 長狭 ・医療・福祉コース ＜医療コース＞ 安房 ・教員基礎コース	千葉工業 ・工業教育拠点校 ・コンソーシアム 長狭 ・医療・福祉コース ＜福祉コース＞		銚子 ・防災の学び 鶴舞桜が丘 ・緑地管理コース		
H27	H29	成田国際 ・グローバルスクール	茂原樟陽 ・農業教育拠点校 小見川 ・福祉コース		船橋古和釜 ・地域連携アクティブスクール 流山北 ・地域連携アクティブスクール 銚子商業 ・海洋環境コース 館山総合 ・観光の学び ・栽培環境コース	大原 岬 勝浦若潮 ・統合	
H28	H30	松尾 ・グローバル化に関する学び	千葉工業 ・理数工学科	小金 ・総合学科	東葛飾 ・中高一貫教育校 成東 ・単位制		
H29	R1 通信 R1 R2	匝瑳 ・国際に関するコース 木更津 ・理数科	佐倉西 ・福祉コース				館山総合 ・通信制協力校

再編 年度	評価 年度	普通科及び 普通系専門学科 ・コース	職業系専門 学科・コース	総合学科	社会のニーズに 対応した教育	全日制高校 の配置	定時制・ 通信制高校 の配置
H30	R2	我孫子 ・教員基礎コース 君津 ・教員基礎コース	千葉商業 ・学科再構成 流山 ・学科再構成 成田西陵 ・学科再構成 下総 ・学科再構成 多古 ・学科再構成 旭農業 ・学科再構成 大網 ・学科再構成 茂原樟陽 ・学科再構成 君津商業 ・学科再構成 鶴舞桜が丘 ・学科再構成		安房 ・単位制		
R1	R3	市川南 ・保育基礎コース	我孫子東 ・福祉コース	幕張総合 ・総合学科	市原八幡 ・防災の学び	市原 鶴舞桜が丘 ・統合	
R2	R4 定時 R5	成田北 ・医療コース 四街道北 ・保育基礎コース	犢橋 ・福祉コース 天羽 ・工業基礎コース 姉崎 ・ものづくりコース				千葉工業 ・学科再構成 市川工業 ・学科再構成 木更津東 ・学科再構成
R3	R5					君津 上総 ・統合	
R4	定時 R6 R7						船橋 行徳 ・統合 佐倉南 ・三部制定時

※網掛け箇所が今年度評価対象校

## II 評価

### 1 普通科及び普通系専門学科・コース

#### (1) 医療コースの設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

#### ア 第4次実施プログラムにおける医療コースの設置

##### (ア) 対象校

- ・成田北高校 普通科

##### (イ) 再編の内容（プログラムより抜粋）

- ・近隣に位置する医療施設等との連携により、幅広い医療分野についての体験的な学習を通して、看護師や理学療法士等になる意欲を醸成し、現在の医療体制に対応する人材の育成を図るため、成田北高校に医療コースを設置します。

#### イ 実施状況

- ・1学年から「総合的な探究の時間」を活用し、外部講師による各医療分野を理解するための講演等を行い、2学年からのコース選択に資するとともに医療分野の理解を深めています。
- ・コース選択者は、2、3学年で医療従事者等による授業や体験実習等を行いながら、将来医療従事者として必要な基礎知識と心構えを学んでいます。
- ・コース選択者は、2学年で「医療探究Ⅰ」（1単位）の科目を学んでいます。
- ・3学年では、文系医療と理系医療に分かれますが、「総合的な探究の時間」で共通科目である「医療探究Ⅱ」（1単位）において、生徒自身が希望する職種などに関する研究テーマを設定し、年度末に発表会を実施しています。
- ・文系医療では、「医療看護国語」（2単位）、「医療数学Ⅰ・A」（2単位）、「文系医療理科」（4単位）の科目を履修しています。理系医療では、「医療看護国語」（2単位）、「医療数学」（3単位）、「理系医療理科」（2単位）の科目を履修しています。





2 学年・「医療探究 I」  
救急救命士に関する講義  
千葉科学大学協力



3 学年・「医療探究 I」  
夏季集中講座  
国際医療福祉大学協力

## ウ まとめ

### (ア) 成果と課題 (○成果●課題)

- コース選択者の生徒の 7 割が、成田北高校に医療コースがあるから選択したと回答しており、高い目的意識を持った生徒が入学しています。
- 入学の段階で具体的な職種が決まっていないことを前提に教育課程が組まれており、将来の職業選択に応じた大学等への進路選択が円滑に行われるよう計画的なキャリア教育を実施しています。
- 医療従事者等による講演会、出前授業、医療体験実習、大学における講義の受講等を通して、医療従事者になるための心構えを育むとともに、医療現場の実情や様々な職種について、理解を深めました。
- 進路指導の充実のため、学力向上を図るとともに、面接・小論文の指導、担当職員による個別相談を行った結果、進路実現に結びついています。
- アフターコロナにおける病院実習の実施やコーディネートの経験を有する教員の配置、全教職員によるコースへの理解を踏まえた組織的な運営が課題です。
- コース選択者の進路実現を図るための教育課程について、柔軟に編成していくことが課題です。

### (イ) 今後の取組の方向性

- ・中学生やその保護者、中学校関係者に対して、進路状況等について、さらに適切な情報提供を推進するとともに、地域の医療に関する学びの拠点となり、小・中学校のキャリア教育を支援します。
- ・校内における組織的な運営を図るとともに、県内医療系コース設置校との協働・連携により、コースの取組の充実を図っていきます。

【参考1】医療コース選択者数

年 度	令和2年度 (設置年度)	令和3年度	令和4年度
第2学年		48	55
第3学年			43

【参考2】主な連携先と連携内容

連携先：国際医療福祉大学、千葉科学大学、千葉県歯科医師会  
 内容：講師派遣、夏季集中講座

【参考3】アンケート結果（「医療コース」を選択して良かった理由）

- ・様々な職種の仕事を知ることができた。
- ・医療について、専門的な知識が増えた。
- ・チーム医療の大切さを学ぶことができた。
- ・自分が成長でき、考えが広がった。
- ・進路について考え、選択の幅が広がった。
- ・コミュニケーション能力の大切さがわかった。
- ・文章を書く力がついた。
- ・体験活動で学ぶことができた。
- ・自分の興味が明確になった。
- ・医療に対する考え方やイメージが変わった。
- ・大学の雰囲気を感じる事ができた。
- ・国家試験について学ぶことができた。
- ・医療従事者になるための大変さが分かった。
- ・相手の顔を見ながら聞く力がついた。
- ・自分の考えで表現する力がついた。

【参考4】令和4年度コース卒業生の進路状況 下線部は医療系進路

大 学	16名（うち医療系11名）	…	<u>国際医療福祉大学、順天堂大学、帝京平成大学、秀明大学</u> 等
短 大	0名		
専門学校	24名（うち医療系23名）	…	<u>日本医科大学看護、二葉看護、八千代リハビリテーション</u> 等
就 職	0名		
未 定	3名		

⇒ コース選択者43名のうち医療系34名（79.1%）

※学校全体で59名が医療系の進路に進学

R4年度 コース定員 **設定なし**

医療系進路決定率（3年生） **79.1%**

3年生 選択者43名／定員なし ⇒ 34名 医療系進路

2年生 選択者55名／定員なし

## (2) 保育基礎コースの設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

### ア 第4次実施プログラムにおける保育基礎コースの設置

#### (ア) 対象校

- ・ 四街道北高校 普通科

#### (イ) 再編の内容（プログラムより抜粋）

- ・ 小学校入学前までの乳幼児に対する保育や幼児教育に興味・関心を持ち、保育士や幼稚園教諭を目指す生徒が、その基礎的な素養を身に付けるとともに、夢や意欲、職業意識等を育むため、四街道北高校に保育基礎コースを設置します。

#### イ 実施状況

- ・ 将来、幼稚園教諭や保育士など、子どもと関わる職業を目指そうとする生徒が、2学年からコースを選択し、保育の基礎知識を学び、様々な実習や体験とおして、将来の目標をより明確にしています。
- ・ コース選択者は、2学年で「保育基礎」（4単位）、3学年で「保育実践」（6単位）の科目を履修しています。この科目では、各学年で週1時間特別非常勤講師によるピアノや歌唱等の実技指導、放課後の補講に取り組んでいます。特にピアノの初心者には1学年の11月から放課後の補講を実施しています。
- ・ 定員22名の少人数制のもとで、保育に携わるために必要な資質・能力を養う授業や、高大連携協定を締結した大学・短大による出張授業、四街道市と連携した探究活動、保育技術検定※3級取得を目指した学習等により、保育分野の専門的な知識や技術を高めています。
- ・ 特に探究活動では、2学年で「子どもの個性を伸ばす保育」、3学年で「保育の見落としを防ぐには」をテーマに調査やまとめ、発表を行うとともに、四街道市児童センターで「親子触れ合い体験」の企画や準備にグループで取り組むなど、体験を通じて深い学びに結びつけています。

---

※保育技術検定：全国高等学校家庭科教育振興会主催の検定。高校生向けの保育分野の知識に関する検定で、1級から4級まである。毎年2回実施しており、保育科等を設置する高等学校で実施されている。3・4級は高校生に必要とされる子育てに関する基本的な内容の問題が出題され、音楽・リズム表現技術、造形表現技術、言語表現技術、家庭看護技術の4つの種目がある。なお、四街道北高校では、令和4年度実績で、2年生19名が4級、3年生17名が3級、3年生1名が2級に合格した。

ウ まとめ

(ア) 成果と課題 (○成果●課題)

○紙芝居や絵本の読み聞かせを通じて、豊かに表現する力とともに、調査した内容をパワーポイント等でまとめたり、発表する力を身に付けたりすることができました。また、造形を通じて、様々な技法や折り紙を用いて表現する力とともに、抱っこや検温、授乳、着替え、おむつ交換等の簡単な看護の技術を身に付けることもできました。

○やや満足を含めてコース選択生徒の満足度が100%であり、保護者からも9割の満足度が得られました。

●保育に関する専門的知識や技術を有する教員の配置が必要です。

●コース選択者で、進路希望が変わり、授業に積極的に参加できなくなった生徒への対応が課題です。

(イ) 今後の取組の方向性

- ・1学年でコース選択する際に、6月の授業公開日に保護者対象の説明会を開くなど、細かく丁寧に教育課程の内容を伝え、ミスマッチが起こらないようにしていきます。



2学年・ミニオペレッタ発表会  
(校内文化祭)



3学年・親子触れ合い体験  
(四街道市児童センター)

【参考1】 保育基礎コース選択者数

年 度	令和2年度 (設置年度)	令和3年度	令和4年度
第2学年		17	19
第3学年			17

【参考2】 主な連携先と連携内容

- ・連携先：千葉敬愛短期大学  
内容：出張授業、ピアノ体験講座、保育ボランティア体験実習等
- ・連携先：植草学園大学  
内容：出張授業、体験講座
- ・連携先：四街道市（四街道市中央保育所、四街道市児童センター）  
内容：保育ボランティア体験実習

**【参考3】生徒アンケート結果（「保育基礎コース」を選択して良かった理由）**

- ・保育の知識が身につく。
- ・みんなで楽しくできた。
- ・行事の制作など発見があったから。
- ・保育についての知識が増えた。実習に行けて楽しい。
- ・資格を取得することができたから。
- ・実習もあり、学んだことを活かせることが多かった。

**【参考4】令和4年度コース卒業生の進路状況 下線部は保育系進路**

大 学	1名（うち保育系1名）	…	淑徳大学
短期大学	6名（うち保育系6名）	…	植草学園短大、千葉経済短大、千葉明德短大、聖徳短大
専門学校	7名（うち保育系3名）	…	千葉女子専門学校、千葉こども専門学校、アイエステティック専門学校、国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校、尚美ミュージックカレッジ
就 職	1名（うち保育系0名）	…	株式会社ディーシーエム
未 定	2名		

⇒ コース選択者17名のうち保育系進路10名（58.8%）

R4年度	コース定員充足率（2・3年生）	90%
	保育系進路決定率（3年生）	58.8%
3年生	選択者17名／定員20名	⇒ 10名 保育系進路
2年生	選択者19名／定員20名	

## 2 職業系専門学科・コース

### (1) ものづくりコースの設置

工業科の具体計画の方向（プランの一部改訂より抜粋）

- 地域産業や産業振興施策との整合性を踏まえるとともに、生徒の地元への就職や地域の活性化等を考慮して、工業高校の配置やわかりやすい学科名への変更を含めた学科再構成、普通科への工業に関するコースの設置等を実施し、工業教育の充実を図ります。

#### ア 第4次実施プログラムにおけるものづくりコースの設置

##### (ア) 対象校

- ・姉崎高校 普通科

##### (イ) 再編の内容（プログラムより抜粋）

- ・様々な教育資源を活用しながら、将来、ものづくり企業への就職を目指すための知識・技術、実践力、創造力を備えた人材を育成するため、姉崎高校にもものづくりコースを設置します。

##### イ 実施状況

- ・2学年からコースに分かれ、様々な教育資源を活用しながら、将来ものづくり企業への就職を目指すための知識・技術、実践力、創造力を備えた人材の育成を目指しています。

##### [1学年]

- ・産業社会と人間（1単位）：ものづくりに関する基礎的な学習として1学年全員が履修します。令和3年度は「産業社会と人間」において、市原市商工業振興課と連携し、市原市内の工場見学を実施しました。また、ものづくり系企業に講師を依頼し、講義や実習を実施しました。

##### [2学年]

- ・工業技術基礎（3単位）：校内における基礎実習
- ・生産システム技術（2単位）：工業の生産システムに関する知識と技術を習得します。

##### [3学年]

- ・生産システム技術（3単位）：工業の生産システムに関するより深い知識と技術を習得します。
- ・課題研究（4単位）：作品製作、調査、研究、実験、資格取得等  
※3年間で合計13単位（「産業社会と人間」を含む。）

(参考) 姉崎高校で取得できる資格

第2種電気工事士、安全衛生特別教育（アーク溶接・研削といし）、危険物取扱者乙種・丙種等



2 学年・出前授業((株)チバコー)



3 学年・課題研究(風力発電装置作成)

## ウ まとめ

### (ア) 成果と課題 (○成果●課題)

- コース選択者の中には、姉崎高校にもものづくりコースがあるから入学したと回答した生徒もおり、高い目的意識を持った生徒が入学しています。
- 授業内容、生活指導、先生方とのコミュニケーション等、生徒、保護者の満足度がとても高くなっています。
- 地元市原市の企業との出前授業や職員との意見交換などを通して地域との交流を深めることができ、授業等について協力体制を得られました。
- 中学校から、「キャリア教育として、将来の就職に大いに役立つ」など、期待する声が多いです。
- ものづくりコースの活動の様子や成果など、もっと広報活動に力を入れた方が良いという意見もありました。
- 施設や設備が十分に整っていないため、工業高校であればできる授業を展開することができないことがあります。

### (イ) 今後の取組の方向性

- ・学校内での活動場所の拡充や専門的な教員の安定的な配置に向けて、環境整備の支援が必要です。
- ・ものづくり人材育成に向けて、外部との連携を深める等により、引き続き授業や進路指導を充実させていきます。
- ・中学生やその保護者、中学校関係者に対して、適切な広報等を検討していきます。

### 【参考 1】ものづくりコース選択者数

年 度	令和 2 年度 (設置年度)	令和 3 年度	令和 4 年度
第 2 学年		8	1 3
第 3 学年			8

## 【参考2】主な連携先と連携内容

- ・連携先：千葉工業大学  
内容：講話「進路を考える～大学進学を選択～」
- ・連携先：株式会社N T T東日本南関東千葉事業部  
内容：専門技術者による通信技術及び高所作業車の操作技術実習、講話「通信の未来」
- ・連携先：株式会社ダイニッセイ  
内容：専門工事業の技術者による鉄筋組立講習、講話「建設業の役割とその魅力」
- ・連携先：株式会社チバコー（工事部）  
内容：専門技術者による片吸込渦巻ポンプの分解組立・芯出し講習、講話「電力業の役割とその魅力」
- ・連携先：学校法人小倉学園 東京自動車大学校  
内容：専門技術者による小型汎用エンジンの分解組立講習及び、実車を用いた電子整備実習、講話「自動車業の役割とその魅力」
- ・連携先：株式会社オカモト  
内容：専門技術者による水道設備の組立講習、講話「上下水道設備の役割とその保守」
- ・連携先：株式会社関電工（東関東営業本部 総括部 総括チーム）  
内容：専門技術者による高所作業車の操作技術及び送配電施工技術講習
- ・連携先：株式会社E N E O Sマテリアル（調達・生産本部）  
内容：専門技術者による高所作業車の操作技術及び送配電施工技術講習
- ・連携先：株式会社東京エネシス（総務人事部人事グループ姉崎事業所）  
内容：講話「電力業の役割とその魅力」
- ・連携先：新東日本製糖株式会社（総務グループ総務チーム）  
内容：講話「製糖の仕組み」
- ・連携先：東日本電気エンジニアリング株式会社（千葉支社）  
内容：講話「鉄道サービスにおける位置づけ」
- ・連携先：一般財団法人関東電気保安協会（千葉事業本部）  
内容：「小学生ものづくり体験学習」

## 【参考3】アンケート結果（「ものづくりコース」を選んでよかった理由）

- ・色々な作業を行うことが出来る。
- ・学べたことが多かった。
- ・就職に有利だった。
- ・いい先生に出会えた。

## 【参考4】令和4年度コース卒業生の進路状況 下線部はものづくり系進路

大 学	0名				
短 大	0名				
専門学校	1名（うちものづくり系1名）	…	<u>船橋情報ビジネス専門学校（ITエンジニア科）</u>		
就 職	7名（うちものづくり系7名）	…	<u>住友化学株式会社、君津共同火力株式会社、</u> <u>デンカ株式会社、株式会社N T T東日本、</u> <u>株式会社ADEKA、日鉄環境株式会社、</u> <u>東京電力パワーグリッド</u>		

⇒コース選択者8名のうちものづくり系8名（100%）

	R4年度	コース定員（2・3年生）	充足率	<b>52.5%</b>
			ものづくり系進路決定率（3年生）	<b>100%</b>
	3年生	選択者 8名／定員20名	⇒	8名 ものづくり系進路
	2年生	選択者13名／定員20名		



## (2) 工業基礎コースの設置

工業科の具体計画の方向（プランの一部改訂より抜粋）

- 地域産業や産業振興施策との整合性を踏まえるとともに、生徒の地元への就職や地域の活性化等を考慮して、工業高校の配置やわかりやすい学科名への変更を含めた学科再構成、普通科への工業に関するコースの設置等を実施し、工業教育の充実を図ります。

### ア 第4次実施プログラムにおける工業基礎コースの設置

#### (ア) 対象校

- ・天羽高校 普通科

#### (イ) 再編の内容（プログラムより抜粋）

- ・工業に興味・関心を持ち、将来、工業系の企業への就職を視野に入れた生徒が、基礎的な資質能力を身に付けるとともに、職業意識を育むため、天羽高校に工業基礎コースを設置します。

### イ 実施状況

- ・2学年からコースに分かれ、様々な教育資源を活用しながら、将来工業系企業への就職を目指すための知識・技術、実践力、創造力を備えた人材の育成を目指しています。

#### [1学年]

- ・総合的な探究の時間（1単位）：キャリア教育の一環として、1学年全員が履修します。具体的には、企業見学、ものづくり関係者による講話等を実施します。

#### [2学年]

- ・工業技術基礎（3単位）：校内における基礎実習
- ・工業数理基礎（3単位）：工業に関する事象の数理処理に関する知識と技術を習得します。

#### [3学年]

- ・課題研究（3単位）：作品製作、調査、研究、実験、資格取得等
- ・製図（2単位）：製図に関する知識と技術を習得します。
- ・生産システム技術（4単位）：工業の生産システムに関する知識と技術を習得します。

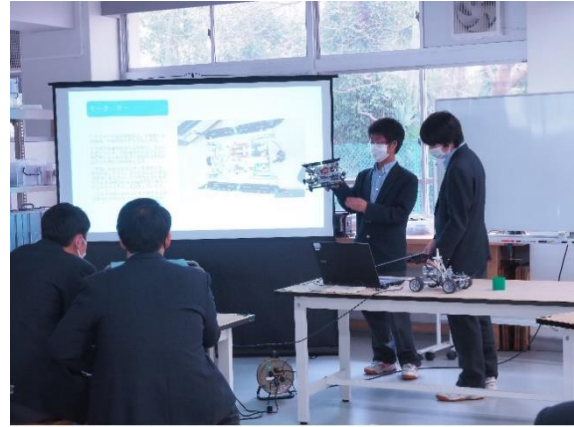
※3年間で合計16単位（「総合的な探究の時間」を含む。）

#### (参考) 天羽高校で取得できる資格

第2種電気工事士、計算技術検定、安全衛生特別教育（アーク溶接・研削といし）、危険物取扱者乙種・丙種 等



2 学年・出前授業（鉄筋作業）



3 学年・課題研究発表

## ウ まとめ

### (ア) 成果と課題（○成果●課題）

- コース選択者の7割の生徒が、天羽高校に工業基礎コースがあるから入学したと回答しており、高い目的意識を持った生徒が入学しています。
- 授業内容や外部の先生による講座、授業実習などの体験学習等、生徒の満足度がとても高く、コース選択者全員が工業基礎コースを選択して良かったと回答しています。
- 企業との出前授業や体験授業、地元企業への見学会の実施などの連携を通して地域との交流を深めることができ、授業等について協力体制を得られました。
- 外部講師として招いた企業へ生徒の内定者が出るなど、工業関係の求人も増えました。また、資格取得等を活かして工業系への進路に進んだ生徒が9割程度いました。
- コロナ禍における実習の実施や、専門的な教員の配置、中学生やその保護者への広報活動が今後の課題です。

### (イ) 今後の取組の方向性

- ・学校内での活動場所の拡充や専門的な教員の安定的な配置に向けて、環境整備の支援が必要です。
- ・工業人材育成に向けて、外部との連携を深める等により、引き続き授業や進路指導を充実させていきます。
- ・中学生やその保護者、中学校関係者に対して、適切な広報等を検討していきます。

【参考1】工業基礎コース選択者数

年 度	令和2年度 (設置年度)	令和3年度	令和4年度
第2学年		14	12
第3学年			14

【参考2】主な連携先と連携内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携先：株式会社JERA、株式会社ダイニッセイ、株式会社関電工、出光興産株式会社、株式会社荏原製作所</li> <li>内容：出前授業（高所作業体験、鉄筋作業体験等）</li> <li>・連携先：黒田精工株式会社富津工場</li> <li>内容：会社見学、職場体験</li> </ul>
---

【参考3】アンケート結果（「工業基礎コース」を選んでよかった理由）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく学べる。（2）</li> <li>・就職に役立つ。</li> <li>・職場に近い環境のようで、工具も豊富にあることが良かった。</li> </ul>
--

【参考4】令和4年度コース卒業生の進路状況 下線部は工業系進路

大 学	0名	
短 大	0名	
専門学校	5名（うち工業系4名）	… 日本自動車学校袖ヶ浦校2級自動車整備科（4）、千葉医療福祉専門学校
就 職	9名（うち工業系8名）	… 黒田精工株式会社富津工場、日鉄環境株式会社東日本支店、株式会社関電工、日鉄物流君津株式会社（2）、株式会社峰製作所、君津共同火力株式会社、住友重機械モダン株式会社、佐川急便株式会社

⇒ コース選択者14名のうち工業系12名（85.7%）

R4年度	コース定員充足率（2・3年生）	100%
	工業系進路決定率（3年生）	85.7%
3年生	選択者14名／定員14名	⇒ 12名 工業系進路
2年生	選択者12名／定員12名	

（参考）

天羽高校のコース定員は学年生徒総数の割合で決めている。令和4年度3年生の生徒数94名、2年生の生徒数74名に対して、そのおよそ6分の1の3年生14名、2年生12名が定員となる。

### (3) 福祉コースの設置

普通科の具体計画の方向（プランより抜粋）

- 医師、教員、介護従事者等不足する人材の育成などを視野に入れ、社会のニーズに対応したコースを設置します。

#### ア 第4次実施プログラムにおける福祉コースの設置

##### (ア) 対象校

- ・ 犢橋高校 普通科

##### (イ) 再編の内容（プログラムより抜粋）

- ・ 地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、地域バランス等を考慮し、犢橋高校に福祉コースを設置します。

#### イ 実施状況

- ・ すべての年代の福祉に対応できる専門知識や技術を習得するとともに、対人支援者としての心構えや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成しています。また、福祉に関する資格取得「介護職員初任者研修課程<sup>※1</sup>終了」を目指すとともに、様々な機関と連携し、地域福祉を推進しています。
- ・ 2学年からコースに分かれ、コース選択者は2学年で「社会福祉基礎」（2単位）、「介護福祉基礎」（2単位）を履修します。3学年では、「生活支援技術」（2単位）、「介護総合演習」（4単位）を履修します。

#### \*各福祉科目の学びの特色

##### 「社会福祉基礎」

子どもや高齢者、障害を持った人などの福祉に関する法律や制度についての知識や、家族や自分自身が生活で困った際の福祉のサービスの申請から利用方法について事例を通して学ぶ。また、ボランティア活動など地域の福祉を支える仕組みを知る。

##### 「介護福祉基礎」

「人権」「コミュニケーション」など、人を支援するために必要な基本的な知識や技術を学ぶ。また、子どもや障害を持った方、高齢者、日常生活で困っている人の身体の状態や心理面などについて、事例を通じた学習や実際に障害を持った方と関わり考えていく。

##### 「生活支援技術」

日常で行っている、食事や睡眠、歩行などの知識を学ぶ。その得た知識を日常生活で取り入れ、生活を豊かにする。例えば「良い睡眠をとるには」などの学習をしている。また、日常生活の動作で支援が必要になった際の基本的な知識や技術を学ぶ。

##### 「介護総合演習」

「生活支援技術」で学んだ知識や技術について実習を通して体験的に技術力を高める。ベッドを整えることや、寝ている人を車いすに乗せ、目的の場所まで行く支援など多くの技術を応用的に学ぶ。また、福祉の授業のまとめとして2学年、3学年で学んだ知識を活かし、課題を解決しレポートにまとめ発表する。

※1 介護職員初任者研修：平成25年3月末の訪問介護員養成研修2級課程（ホームヘルパー2級）の廃止を受け、同年4月から介護職員初任者研修課程に移行された。在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技術を修得し、指示を受けて介護業務を実践できる能力を育成することを目的としている。

受講時間	講義	実技	実習	修了試験
	130時間	40時間	90時間	

- ・福祉系大学や社会福祉協議会、社会福祉法人と連携し、出張授業や実技、施設見学、交流等の実践的な取組を行っています。また、千葉県健康福祉部健康福祉指導課の「介護の未来案内人」※<sup>2</sup>を実施し、実際に介護職に就いている方から介護の魅力を学ぶとともに、福祉マインドを育成しています。



2 学年・淑徳大学の出前授業  
(高大連携事業)



3 学年・福祉施設職員による  
介護実技の授業

#### ウ まとめ

##### (ア) 成果と課題 (○成果●課題)

- 高大連携による大学の出張授業や、社会福祉施設での実技等、様々な外部機関との連携も取りやすくなりました。
- 福祉の学びを通じて、生徒は受容や共感、相手との距離感の取り方などコミュニケーション能力が向上するとともに、社会にある福祉的な課題について関心を持ち行動することができるようになりました。
- コースに定員(20名)があるので、コース希望者が全員コースを選択できないことがあります。
- 近隣の中学校からはコースの学びについて、情報発信をもっとした方が良いという声が聞かれました。

##### (イ) 今後の取組の方向性

- ・福祉の教員を確保することにより福祉の授業数を増やし、犢橋高校に入学したら、1科目でも福祉の科目が学習できる環境づくりに取り組んでいきます。
- ・「令和4年度 心のバリアフリー教育地域拠点校」として、本校1学年全員を対象に淑徳大学教授及び学生を講師として招き、「私たちの生活に身近な福祉と社会における福祉」という内容で、高大連携出前授業を行いました。来年度以降も、1学年を対象に福祉に関する授業を実践し、全校生徒が福祉教育を受ける機会を確保していきます。

※2 「介護の未来案内人」：千葉県健康福祉部健康福祉指導課の事業。県内介護事業所に勤務する方を講師とし、介護の仕事を選んだ「きっかけ」や「エピソード」、介護職の「魅力」や「やりがい」、日々の仕事で感じている「楽しさ」などを紹介する。

【参考1】福祉コース選択者数

学 年	令和2年度 (設置年度)	令和3年度	令和4年度
2学年		20名	19名
3学年			20名

【参考2】主な連携先と連携内容

- ・連携先：淑徳大学  
内容：授業の実施（年2回）※令和4年11月に高大連携協定を締結
- ・連携先：社会福祉法人八千代美香会  
内容：特別非常勤講師による実技指導（週2時間）
- ・連携先：社会福祉法人初穂会  
内容：オンラインでの施設見学（年1回）
- ・連携先：千葉県社会福祉協議会  
内容：視覚障害者の方との交流（年1回）
- ・連携先：千葉県健康福祉部健康福祉指導課  
内容：介護の未来案内人事業の実施（年1回）

【参考3】生徒アンケート結果（「福祉コース」を選んでよかった主な理由）

- ・実習が大変だったけど楽しかった。
- ・福祉を学び興味が湧き、福祉系の大学に進学することになったから。
- ・興味のあることを学べる。
- ・福祉コースに入ったおかげで普段生活していく上では学べない介護、障害、児童支援など実生活にも活用出来るような内容を学ぶことが出来たからです。そして福祉コースは2年間クラスが変わらないのでその分友達との関係も深くなり良かったなと思います。

【参考4】令和4年度コース卒業生の進路状況 下線部は福祉系進路

大 学	6名（うち福祉系6名）	… 淑徳大学（2）、東都大学、 <u>植草学園大学、人間環境大学、和洋女子大学</u>
短期大学	2名（うち福祉系1名）	… <u>千葉経済短大（こども学科、ビジネスライフ学科）</u>
専門学校	8名（うち福祉系4名）	… <u>中央介護福祉専門学校、華学園栄養専門学校、東京メディカル・スポーツ専門学校、スポーツ健康医療専門学校、日本自動車大学校</u> 等
就 職	3名（うち福祉系1名）	… <u>社会福祉法人八千代美香会（介護職）、（株）荒木水建</u> 等
未 定	1名	

⇒ コース選択者20名のうち福祉系進路12名（60.0%）  
介護職員初任者研修資格はコース選択者全員取得

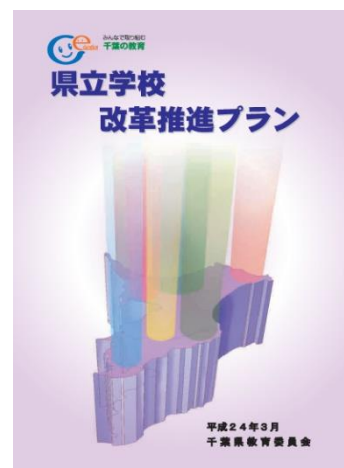
R4年度	コース定員充足率（2・3年生）	<b>97.5%</b>
	福祉系進路決定率（3年生）	<b>60.0%</b>
3年生	選択者20名／定員20名	⇒ 12名 福祉系進路
2年生	選択者19名／定員20名	

### 3 令和2年度再編実施分プラン評価のまとめ

#### (1) 評価を終えて

県教育委員会では、プランの実施状況及び成果や課題を把握し、より一層魅力ある県立学校づくりを推進するとともに、今後の高校改革に係る計画の策定に資することを目的とし、評価を実施しました。

令和2年度に再編を実施した5校は、プランにある「改革の方向性」に沿い、「基本コンセプト（目指すべき県立高等学校像）」の実現に向け、一定の成果を上げており、魅力発信に向けた広報の改善など課題はあるものの、「魅力ある学校づくり」という目的を概ね達成できたと考えます。



#### (2) 評価の改善に向けた取組

医療コース及び保育基礎コース、福祉コースは、不足する人材の育成という目的のもと設置したコースです。医療コースでは、医療コースがあるから成田北高校に入学したというような、高い目的意識を持った生徒がコースを選択し、保育基礎コース、福祉コースではコース選択者及び保護者から、授業に対する高い満足度が得られました。具体的には、外部講師を招いた授業や実習・ボランティア活動を通じた地域との交流・連携といったコースの学びに対して、生徒や保護者から高い評価を得ています。課題としては、定員の拡充や外部講師との円滑な連携などがあげられます。その学びを活かした進路では、医療コースでは、医療系進路が約8割、保育基礎コース、福祉コースでは約6割の生徒が専門の学びに関連する進路に進んでいます。

ものづくりコース及び工業基礎コースは、両コースともに、京葉臨海部に位置する企業等から、ものづくりの基礎を学んだ地元出身の生徒が求められていた背景があり、若手人材の確保・育成を支援するため、工業科の設置がなかった第9学区の普通科に設置した工業系のコースになります。ものづくりコース、工業基礎コースともに、コース選択者及び保護者から授業やコースの学びに対する高い満足度が得られました。具体的には、地元市原市や富津市の協力を得て、出前授業や体験授業、地元企業への見学会など、工業系企業等との交流・連携といったコースの学びに、生徒や保護者から高い評価を得ています。課題としては、専門的な教員の配置、中学生やその保護者への広報活動があげられます。その学びを活かした進路では、ものづくりコースでは、コース選択者全員がものづくり系進路へ、工業基礎コースでは、約9割が工業系進路に進んでいます。

#### (3) 効果的な魅力の広報・周知

再編実施校では、各学校のホームページで取組を紹介したり、学校説明会等で学びやコースの説明をしたりと、様々な形で広報を行っておりますが、近隣中学校へのアンケートの結果を見ると、再編実施校の取組について、近隣の中学校にあまり定着していないと考えられます。

県教育委員会でも、県のホームページの「県立高校ナビ」等で、再編実施校の取組を紹介したり、学区別リーフレットや職業系専門学科リーフレットを作成し配布したりするなど、中学生やその保護者に向けて広報活動等を行っています。

今後も近隣小・中学校への出前授業の実施や、地域行事等への参加等を通して、学習の成果の発表や学びのPR活動を行うことで、再編実施校の取組について、もっと興味を持ってもらい、そして、中学生が目的意識を持ち、自分の将来に生かせる学校選択につながるよう、更に効果的な情報発信に努めてまいります。

#### (4) 外部関係団体の意見から

##### ア 医療コースの設置（成田北高校）について

「医療に関して興味を持った生徒が入学する学校へと印象が大きく変わった」や「一生懸命取り組んでいて、熱心さが伝わってくる」など、好意的な意見をいただいています。また、「様々な体験ができることは、非常に大事な要素であるが、教員一人一人の指導力向上なども必要である」との意見もいただきました。

##### イ 保育基礎コースの設置（四街道北高校）について

学びについては、「保育職に就いたときだけではなく、将来、親になったときにも役に立つものであるので、しっかり学んでもらっていて嬉しいし、先生方が熱心に教えてくれている」と好意的な意見をいただきました。課題として、「家庭科の先生への負担が大きい」ことや、進路選択に際しては、「保護者の意向も大きく影響するため、家庭を巻き込んだキャリア教育が必要である」という意見もいただきました。

##### ウ ものづくりコースの設置（姉崎高校）について

普通科の中に専門の学びにも触れることができるコースを設置したことについて、「地元の企業と連携することで地元にも目を向けてもらえるため良い」と好意的な意見をいただいています。一方、「普通科の高校なので、既存の建物で、工業の学びができる施設・設備に限界があるのではないか」や「工業系だけに、男子生徒が多い現状について、女子生徒にも広がっていくよう、ものづくりでもカリキュラムなどに、デザイン系の学びを入れても良いのではないか」といった意見もいただきました。

##### エ 工業基礎コースの設置（天羽高校）について

「地元企業への就職につながる良いコースである」と好意的な意見を多くいただきました。その一方で、「今後、工業関係の企業に着実に就職できるよう、企業との連携を一層強めてほしい」など、期待する声もいただきました。また、広報活動について、「もっと宣伝した方がよい」というような意見もいただきました。

##### オ 福祉コースの設置（犢橋高校）について

福祉の学びやその意義について好意的な意見をいただいています。が、「福祉の学びを積極的に広報していくとともに、福祉の学びで得た知識をどのように活用していくかが課題である」との指摘がありました。



#### カ 再編全般について

様々なコースや学びを選択できることに好意的な意見をいただきました。また、キャリア教育という視点から、「具体的に高校に入ってからの内容が見えてくると、生徒にとって高校選択の材料となり、教員も進路指導がやりやすい」とありました。さらに、再編後について、「作った後に各学校で課題が見えてくるので、作って終わりではなく、課題を克服するためのフォローが必要である」「本当にその再編が必要だったのか客観的に評価する必要がある」とありました。本評価を形骸化することなく、きちんと再編での取組を総括し、既設校への必要な支援を行うとともに、新しい再編プログラムに活かしていきたいと考えます。

#### キ 今、社会が求めている人材について

コースで学んだことによる人材の確保を期待する声や、コミュニケーション能力や適応力など具体的な資質を求める意見がありました。また、「変化に対応できる人、粘り強く取組み困難を乗り越えられる人、意見を交わすことができる人、グローバルな視点を持っている人、やることが多い時代だからこそ、個性を伸ばせる人が必要」との意見がありました。県教育委員会では、人材の育成について、「県立高校改革推進プラン」の中で「スクール・ミッション」として4つの観点を示しています。今後も同ミッションに基づく各校の「スクール・ポリシー」を基点とした取組を県教育委員会として支援していきます。

#### ク 県立高校に期待すること、県教育委員会が進めている「県立学校の魅力づくり」について、以下の意見をいただきました。

- ・一部の教職員や生徒の頑張りで成立する枠組みではなく、学校全体で運営できるように県が支援することが必要である。
- ・いつでも授業参観できるような体制を作り、積極的に広報するべきである。
- ・義務教育段階に不登校であった生徒を受け入れることができる教育環境や柔軟な出席の取扱い等の対応が必要ではないか。
- ・予算を確保し、校舎や部活動における施設整備を進めてほしい。
- ・将来の職業選択につながる学びとなるため、今後も社会状況の変化をとらえて「県立高校の魅力づくり」を推進していただきたい。
- ・この学校に行くこんなことが学べる、こういう仕事に就けるといような、学びの内容とその先がわかりやすいと選ばれやすい。
- ・私学と公立の役割が変化してきていると感じる。少子化の中にあって、自信をもって社会に出ていくための自己表現を見いだせる高校として県立高校の役割がある。
- ・生徒に魅力的な学校であることを期待したい。中高連携は、中学校側も各高校の特色を知る良い機会である。
- ・コース設置が、高校卒業後の進路までを考える機会を提供しているものになっており、それが魅力となっている。まだまだ知られていない職種・分野に焦点を当てたものがあると進路において新たな気づきとなる。
- ・PRをもっとした方が良い。内容が充実しているだけにもったいない。

- ・再編をするならば、施設、設備、人員配置、予算の面でしっかりと支援してあげるべき。様々な専門学科やコースがあることを中学校の先生にも学んでもらう機会があると良い。
- ・いろいろな学びや職業を実際に体験することは、とても大事だと感じる。県立高校の学びや、その先にある職業を中学生や小学生のうちから触れてもらいたい。
- ・コース名や具体的な内容など、いろいろな人に知ってもらえるよう広報をして欲しい。中3のときに知るのでは遅い。中学校入学時、小学生、その親に向けて情報を下ろしていかないと遅い。
- ・地元への就職や地域の活性化という観点からは、ものづくりコースができて良かった。生徒のものづくりへの意識が醸成されている。工業科だと専門的すぎて選ばれにくい現状がある中で、こういったコースで選択肢が広がることはよいことである。小中学生へもっと広報をして、この取組を周知してほしい。
- ・小・中学校へのPRが少ない。小・中学生に高校の魅力やコースの魅力を伝える場があると良い。
- ・学校ごとにさらに魅力を全面に打ち出していくことが大切であると思う。

#### (5) 終わりに

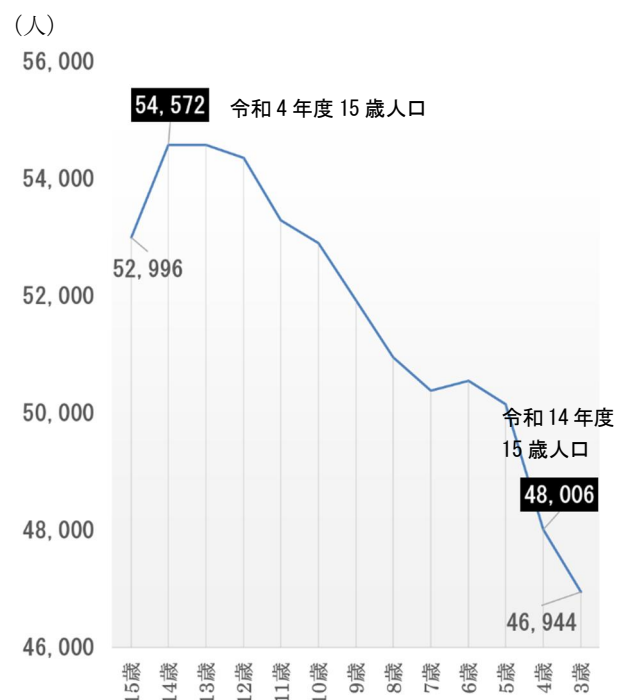
千葉県総合企画部統計課の統計によると、今後更に少子化が進み、令和4年度の15歳人口が、10年後の令和14年度には現在より約6千人も少なくなると予測されています。

したがって、県立高校を取り巻く環境は、ますます厳しくなることが推測されますが、次代の本県を担う人材の育成のために、引き続き、魅力ある学校づくりを推進してまいります。

再編実施校では、既に「授業内容の工夫・改善」「校内での連携強化」「地域との連携の拡充」「キャリア教育の推進」「広報活動の見直し」など、更なる魅力ある高等学校づくりに向け、検討、準備、実施をしています。

魅力ある学校づくりを進めるためには、学校や行政、生徒、保護者、地域の方々など学校に関わるあらゆる人々が、生徒の明るい未来のために、ともに手を携えていくことが必要です。今後も魅力ある学校づくりに対して、御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

県教育委員会としては、「県立高校改革推進プラン」に基づく、実施プログラムを通じて、引き続き学校の魅力化・特色化に取り組んでまいります。



(出典：令和3年度千葉県総合企画部統計課統計)

### Ⅲ 資料

#### 1 普通科及び普通系専門学科・コース

##### (1) 医療コースの設置

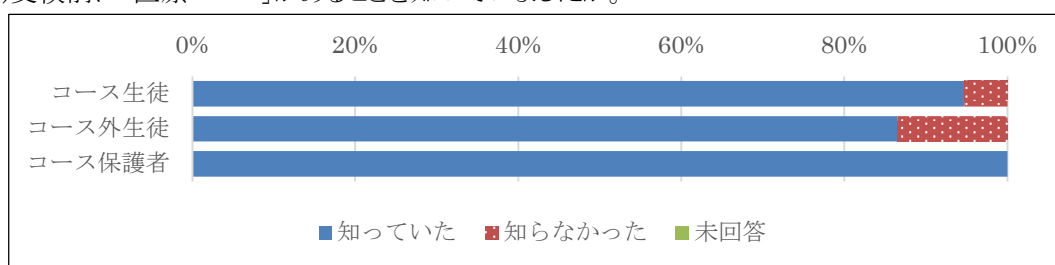
###### 【成田北高校】

###### ア 生徒及び保護者アンケート調査

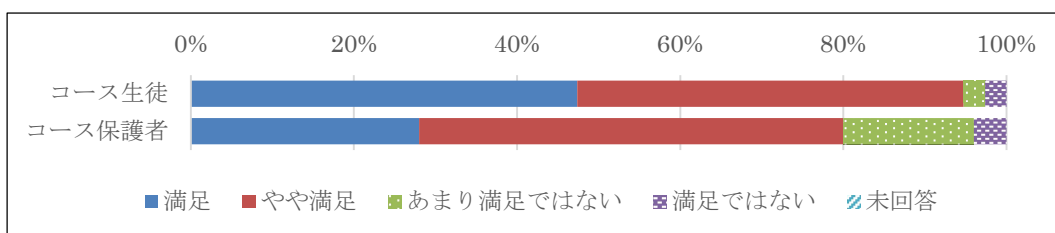
###### (ア) アンケートの実施

- ・実施時期 令和4年12月
- ・回答数 コース生徒38名、コース外生徒178名、コース選択者の保護者25名  
(コース選択者43名)

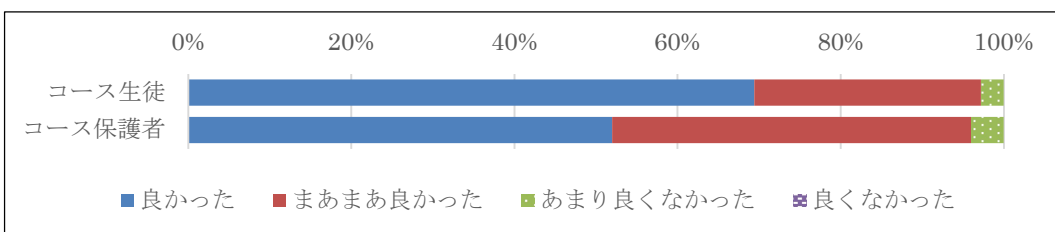
###### (イ) 受検前に「医療コース」があることを知っていましたか。



###### (ウ) 「医療コース」の授業内容に満足していますか。



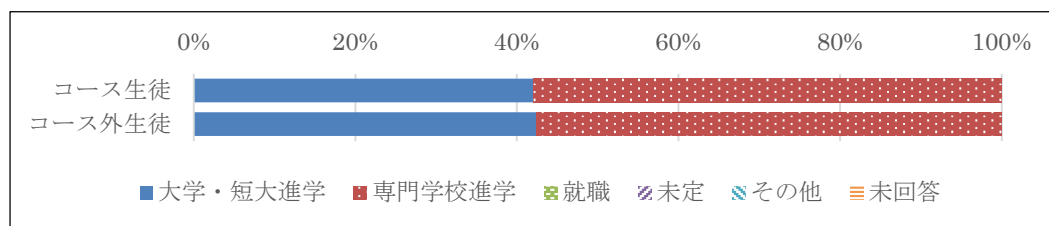
###### (エ) 「医療コース」を選択して良かったですか。



###### 【コース生徒の主な理由】

- ・医療従事者の夢を固めることができたから。
- ・受験科目の授業が受けられるから。
- ・外部の講師の方から詳しい内容の講義を受けることができ、知識が増えたから。
- ・医療コースを取らなければ知ることのなかった医療系の職種についての知識を得ることができ、将来働く際に役立てられると思う。
- ・普通の高校生で学べないことを学べたから。
- ・友人ができ、医療に関する関心が深まったから。
- ・看護師や作業療法士、臨床検査技師などの仕事に就くための知識を学べられたから。
- ・知らない世界のことを詳しく知れた良い機会だったから。

## (オ)進路希望状況



※コース選択者

【大学・専門学校】医療系、経済学部、美容、心理学部、国際関係

## イ 当該校への聴き取り(抜粋) ※令和5年3月実施

### (ア)「医療コース」の目標や特色

- ・近隣に位置する医療施設等との連携により、幅広い医療分野の体験的な学習を通して、看護師や理学療法士等になる意欲を醸成し、現在の医療体制に対応する人材の育成を図ることを目的としています。
- ・本コースは、幅広い(医療)分野で活躍することのできる人材育成を視野に入れたコースです。具体的な職種としては、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床検査技師・薬剤師・救急救命士・歯科衛生士等を想定しています。
- ・近隣に位置する医療施設等との連携により、幅広い医療分野についての体験的な学習を通して、看護師や理学療法士等になる意欲を醸成し、現在の医療体制に対応する人材の育成を図ります。
- ・医療従事者など外部講師による講演会や出前授業を通して、医療への興味・関心を高めます。
- ・医療体験実習や大学で講義を受けるなど、医療に対する心構えを育むとともに、医療現場の実情や様々な職種についての理解を深めます。

### (イ)学習への取組

- ・1学年では、「総合的な探究の時間」を活用し、外部講師による各医療分野を理解するための講演等を行い、2学年からのコース選択に資するとともに医療分野の理解を深めます。
- ・2、3学年では、医療従事者等による授業や体験実習等を行いながら、将来医療従事者として必要な基礎的知識と心構えを学びます。
- ・医療コースが開設されたことにより、医療系進学を希望している生徒が増え、進路意識の向上を感じています。また、理系を希望する生徒も増加しています。医療に関する内容を高校のうちから勉強し、進路選択に生かしたいという生徒が多くいます。
- ・学習、学校行事、部活動等で活動の中心となり、積極的な生徒が多いように感じています。そして、医療に関する知識の増加とともに、文章力や表現力が他の生徒より高まっています。また、探究活動を通して、コミュニケーション能力が向上したと感じている生徒も多くいます。

#### (ウ)「医療コース」設置の成果

- ・本校の場合、「医療コース」の設置が、学校の特色化及び生徒募集につながっていると思われまます。
- ・成果として、「医療探究Ⅰ」受講（2学年）後のアンケートで、受講して成長したと回答した割合が100%でした。また、「医療探究Ⅰ」を通して様々な医療に関する職種を知ること、生徒の希望進路に影響しました（例：作業療法士から言語聴覚士、臨床検査技師から看護師志望に変更）。さらに、総合的な探究の時間「医療探究Ⅱ」受講（3学年）後のアンケートでは、探究活動を通して、医療に関する知識、進路への意識、情報収集能力、コミュニケーション能力について半数以上の生徒が向上したと回答しています。

#### (エ)現在の課題

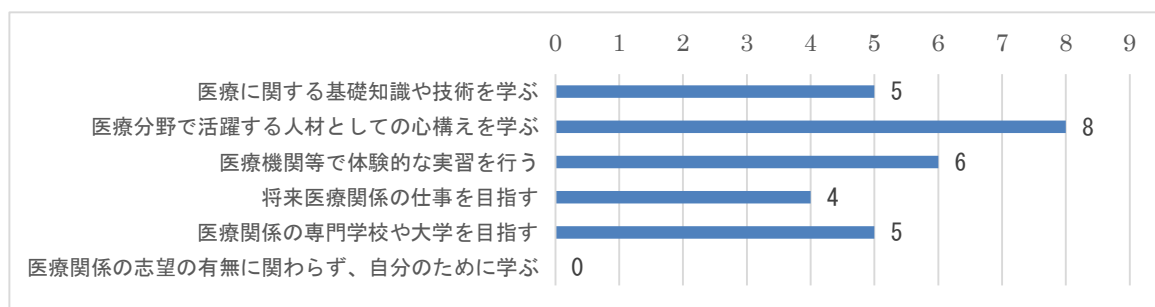
- ・病院等への実習の実施が困難であることから、校外で実施するカリキュラムの一部見直しや、大学での実習について、柔軟に対応していく必要があります。
- また、大学内の担当者を決めていくことに課題があり、定常的に十分な教育活動ができるかが難しいと感じています。

#### (オ)近隣中学校からの評価

- ・明るく楽しく学校生活を送ることができているという評価を得ています。また、医療コース報告書により、「医療コース」の取組がよくわかり、興味を持つ中学生も増えています。

### ウ 近隣中学校（14校）へのアンケート

#### (ア)「医療コース」の取組として、良いと思うものはどれですか(各中学校2つまで)



#### (イ)中学校からの意見(抜粋)

- ・様々な分野で活躍できる人材育成のための基礎が学べる学校として、大いに期待している。
- ・将来、自分が生まれ育った地域で医療従事者として活躍できる人材が増えることを期待している。
- ・授業を拝見する機会があったが、救急の講師を招いて実習を行っていた。生徒の皆さんが積極的に真剣に取り組んでおり、良さを実感した。継続して進めていただきたい。
- ・カリキュラムの積極的な発信、広報活動。卒業時に何ができるようになっていくか明確なゴールを示すこと。
- ・実際にどれだけの生徒が医療系の道に進んでいるのか（卒業生）。高校の授業において、医療関係の生の声をどれだけ多く聞けるのか。近くの大学病院等と連携が今後も図れることを期待したい。
- ・医療関係の上級学校へ進学しやすかったり、仕事に就きやすくなったりできるようなシステムを確立できればと期待している。

- 医療コースで学ぶ生徒の姿が地域や中学生に見えるとよい。
- 資格取得のための系統立てた学びができる成田北高校からの情報発信（中学生、保護者、地域）を大切にしていきたい。
- 地域医療の質向上に貢献できる人材として、具体的な技術を習得できるカリキュラムを増やしていただけるとよい。
- より地域と連携できればと考える。
- 国際医療福祉大学との連携強化を図る。
- 医療コースは大変魅力的である。しかしながら、校舎の構造、教室、トイレ、壁等、老朽化が著しい。せっかくの魅力が半減である。県外からの視察も増える中、教育課程に相応しい校舎の改善が必要である。施設の改築・修繕は、県立高校全体に言えることだと考える。

## (2) 保育基礎コースの設置

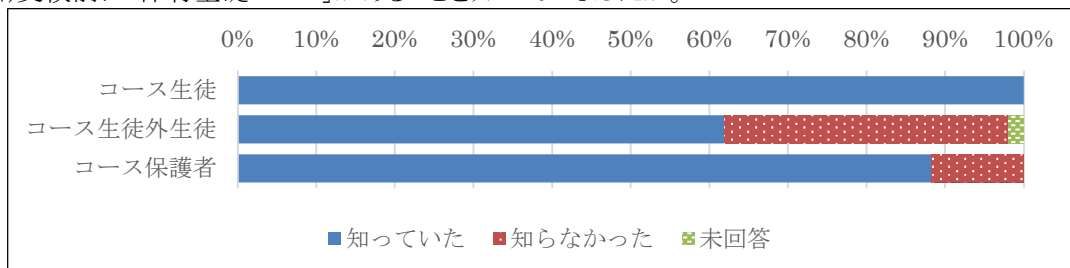
### 【四街道北高校】

#### ア 生徒及び保護者アンケート調査

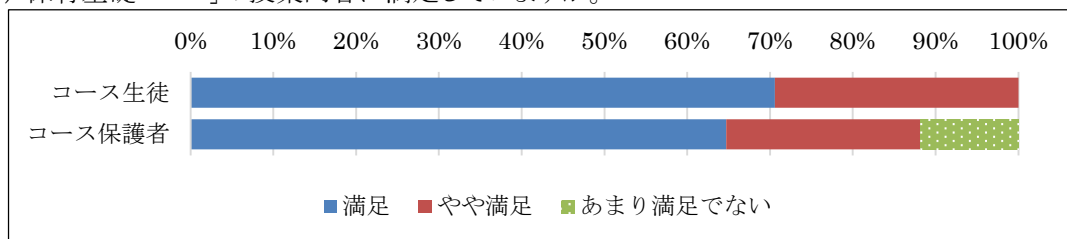
##### (ア)アンケートの実施

- ・実施時期 令和4年12月
- ・回答数 コース生徒17名、コース外生徒205名、コース選択者の保護者17名  
(コース選択者17名)

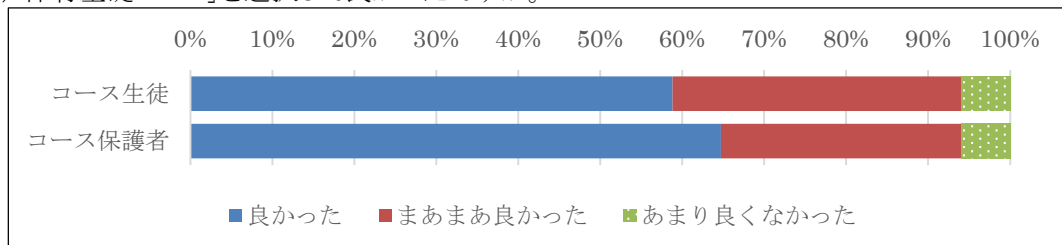
##### (イ)受検前に「保育基礎コース」があることを知っていましたか。



##### (ウ)「保育基礎コース」の授業内容に満足していますか。



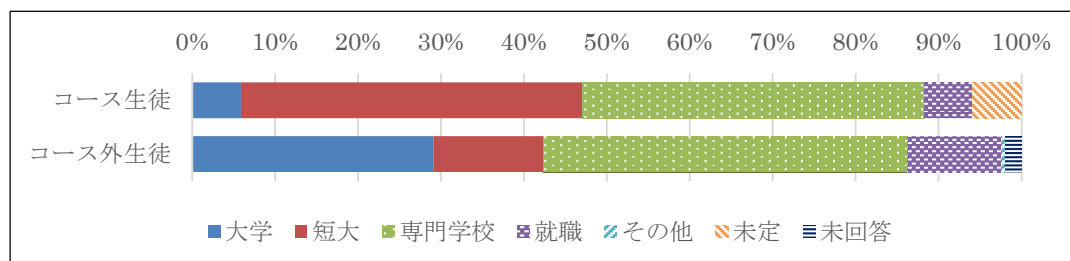
##### (エ)「保育基礎コース」を選択して良かったですか。



#### 【コース生徒の主な理由】

- ・保育の知識が身につく。
- ・みんなで楽しくできた。
- ・行事の制作など発見があったから。
- ・保育についての知識が増えた、実習に行けて楽しい。
- ・資格を取得することができたから。
- ・実習もあり、学んだことを活かせることが多かった。
- ・保育技術検定が取れた。ピアノに触ることができた。
- ・授業の内容ややる事はよかったが、正直、人間関係は何とも言えなかった。
- ・ピアノを個人ではなく全体で進めたりと「なぜ」と思うことがあった。
- ・いい友達ができた。
- ・コースに入ってから違和感を感じ、進路変更したから。

(オ)進路希望状況



※コース選択者

【大学進学】1名（保育系1名）

淑徳大学（総合福祉学部 教育福祉学科学校教育コース）

【短期大学】6名（保育系6名）

植草学園短期大学（こども未来学科）、千葉経済大学短期大学部（こども学科保育コース）、千葉明德短期大学（保育創造学科）、聖徳大学短期大学（保育科第一部）

【専門学校】7名（保育系3名）

千葉女子専門学校、千葉こども専門学校、アイエスティック専門学校、国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校、尚美ミュージックカレッジ

【就職】1名（保育系0名）

株式会社ディーシーエム

【未定】2名

イ 当該校への聴き取り(抜粋) ※令和5年3月実施

(ア)「保育基礎コース」の目標や特色

- ・2学年からコースに分かれ、保育の基礎を学ぶ。将来、幼稚園教諭や保育士など子どもと関わる職業を目指そうとする生徒が、保育の基礎知識を学び、様々な実習や体験を通して将来の目標をより明確にすることができる。

(イ)学習への取組

- ・将来、幼稚園教諭や保育士など子どもとかかわる職業に就きたいから、子どもが好きだから、あこがれの先生のようにになりたいからの理由でコースを選択している。
- ・保育について基礎的な知識と技術を習得できた。また、発表したり表現したりすることが以前より豊かになった。

(ウ)「保育基礎コース」設置の成果

- ・保育について基礎的な技術と知識を習得して進学できる。

(エ)現在の課題

- ・保育に関する専門的知識や技術がある教員の十分な配置
- ・進路希望が変わった生徒の対応（2学年に進級した際に進路先を確認したが、途中で進路希望が変わり、目標がずれ授業に積極的に参加できないことが多くなった。）

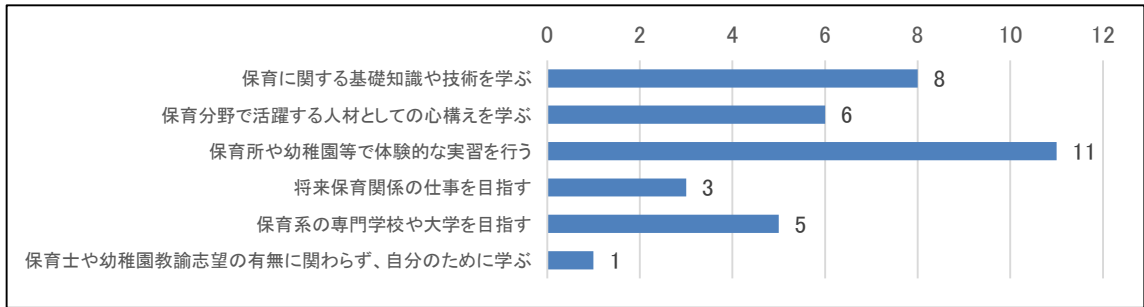
(オ)近隣中学校からの評価

- ・地域等の保育施設で体験的実習を行い、保育系の仕事に就きたいと思える生徒が増えるようにしてほしい。
- ・情報発信をホームページや地域から発信してほしい。



## ウ 近隣中学校（17校）へのアンケート

(ア)「保育基礎コース」の取組として、良いと思うものはどれですか(各中学校2つまで)



### (イ)中学校からの意見(抜粋)

- ・ 男性の保育士という道があることの紹介。教育委員会の力だけでなく、社会的にも男性保育士や保育士の処遇改善が望まれる。
- ・ 生徒と地域社会のニーズに答えた進路選択につながることを期待する。
- ・ 近隣中学校との連携。保育士コースに関するPRが必要。
- ・ 保育基礎コースを選択した生徒が様々な体験や学習活動を通して自分の夢を実現していくことを期待している。
- ・ 保育や幼児教育への興味・関心を高めるための外部講師と連携した授業、保育基礎コースの特徴・魅力が伝わるPR・広報の充実
- ・ コロナ禍で難しいところですが、地域の保育施設と多くの交流（保育補助など）を持ち、それをSNSで広報するなどできるとよい。
- ・ 大学や専門学校等と、より連携を強化して実習体験や講義などを中心に充実させていただきたい。
- ・ 保育系の仕事に就きたいと思える生徒が増えるように、実習や体験の時間が持てるとよい。
- ・ 体験的な学習を通して、保育分野で活躍する人材の育成を図ることを期待している。

## 2 職業系専門学科・コース

### (1) ものづくりコースの設置

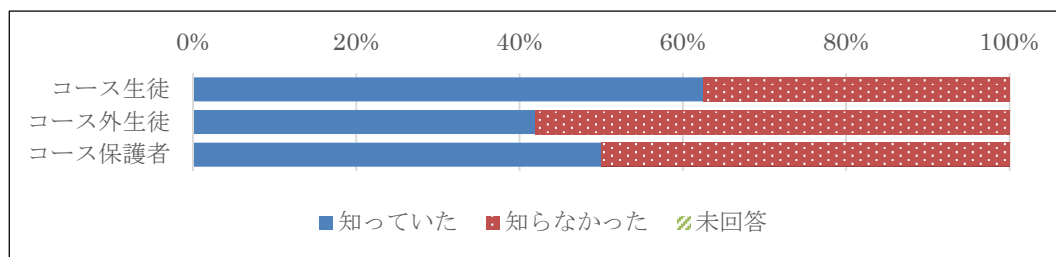
#### 【姉崎高校】

#### ア 生徒及び保護者アンケート調査

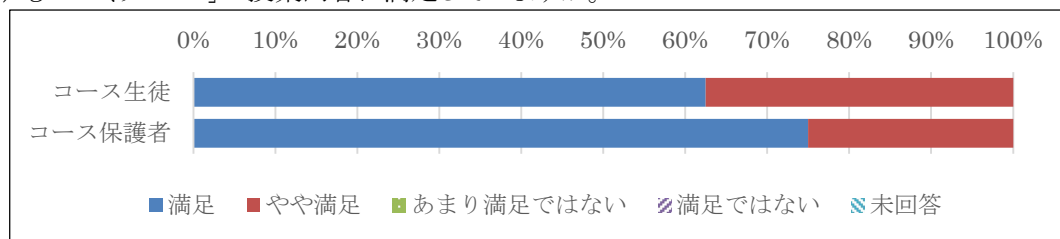
##### (ア) アンケートの実施

- ・実施時期 令和4年12月
- ・回答数 コース生徒8名、コース外生徒138名、コース選択者の保護者4名  
(コース選択者8名)

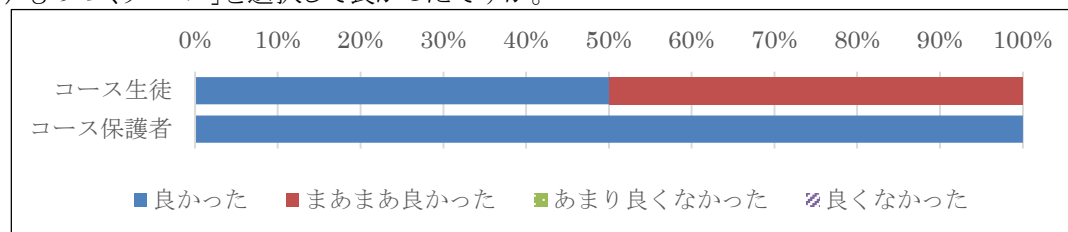
##### (イ) 受検前に「ものづくりコース」があることを知っていましたか。



##### (ウ) 「ものづくりコース」の授業内容に満足していますか。



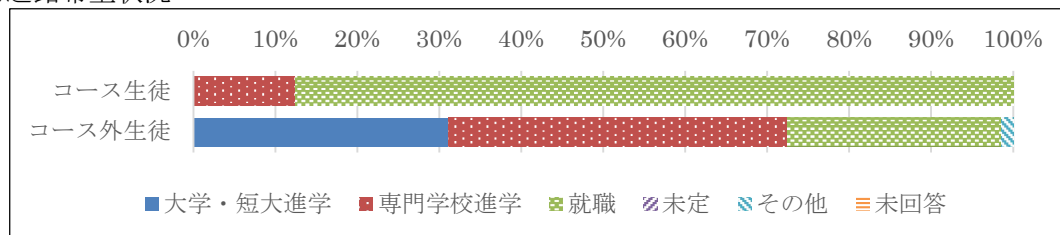
##### (エ) 「ものづくりコース」を選択して良かったですか。



#### 【コース生徒の主な理由】

- ・色々な作業を行うことが出来たから。
- ・学べたことが多かった。
- ・就職に有利だった。
- ・良い先生に出会えた。

##### (オ) 進路希望状況



#### ※コース選択者

【就 職】電気職、運転捜査員、化学業界など

## イ 当該校への聴き取り(抜粋) ※令和5年3月実施

### (ア)「ものづくりコース」の目標や特色

- ・工業に興味を持ち、地元工業系企業への就職や工業系大学への進学を目指す。

### (イ)学習への取組

- ・2学年の「ものづくりコース」選択に向けて、1学年に全員が「産業社会と人間」を履修する。
- ・「産業社会と人間」において、「ものづくりコース」の説明及び体験を実施する。
- ・地元工業系企業から講師を招聘し、その企業に関わる講義及び実技を実施する。また、積極的に地元工業系企業のインターンシップを実施する。

### (ウ)「ものづくりコース」設置の成果

- ・多様な生徒のニーズに応じることのできる教育課程を展開できる。

### (エ)現在の課題

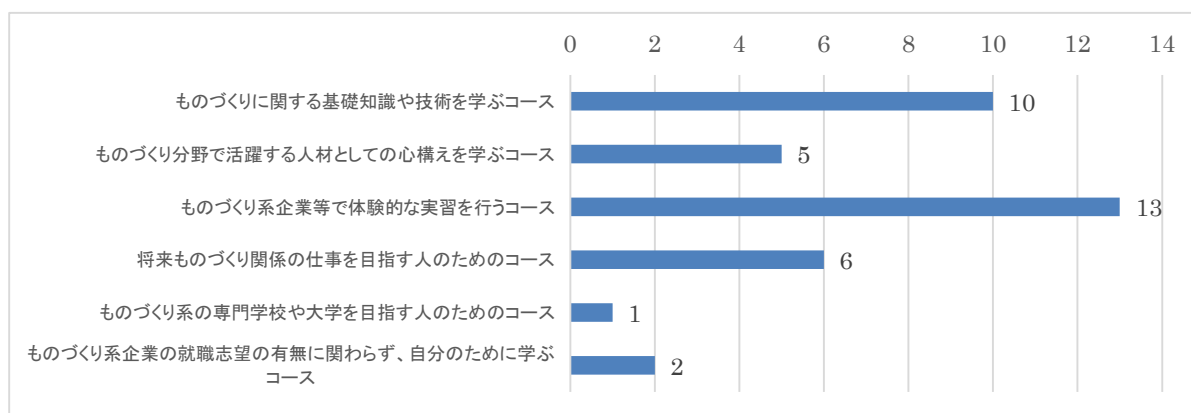
- ・施設や設備が十分に整っていないため、意図する授業を展開することができないことがある。

### (オ)近隣中学校からの評価

- ・年々、「ものづくりコース」に入りたいため、受験するという生徒が増加している。

## ウ 近隣中学校(19校)へのアンケート

### (ア)「ものづくりコース」の取組として、良いと思うものはどれですか(各中学校2つまで)



### (イ)中学校からの意見(抜粋)

- ・校則の見直しでメディアに多く紹介されたが、今後はものづくりコースについても発信の機会を増やしてほしい。
- ・今後の活動の様子を発信していただきたい。作品や成果を公の場で見たい。
- ・普通科ならば進学(専門・大学)を目指せるようコース制を2つ、3つつくと生徒の要望に合うかもしれない。
- ・普通科で幅広く学びながら、将来就職を考えている生徒にとっては、ものづくりコースはとても良い学びの場になる。
- ・ものづくりの土台となる心構えをしっかりと学び、実際に地元企業等で体験をすることで地元企業により人材が集まり、発展を目指す。また、キャリア教育として、将来の就職にも大いに役立ってよいと思う。
- ・工業に関する知識と技術を着実に身に付け、地域産業に貢献できる人材の育成を期待している。

- ・学習面での小中高の連携（教師よりも高校生と中学生、小学生と高校生など）、地域の子どもが進学したいと思う学生の育成だと思う。
- ・地域の企業との更なる連携（臨海部）、校舎のリフォームなどによる過去の生徒指導困難校であった頃のイメージの払拭
- ・本校の生徒達の面接練習において、姉崎高校を志望している生徒達からは、「ものづくりコース」について高い関心を持っていることがうかがえる。今後の卒業生達が有意義な進路選択ができることを期待する。
- ・地域の企業に貢献する人材の育成を期待する。

## (2) 工業基礎コースの設置

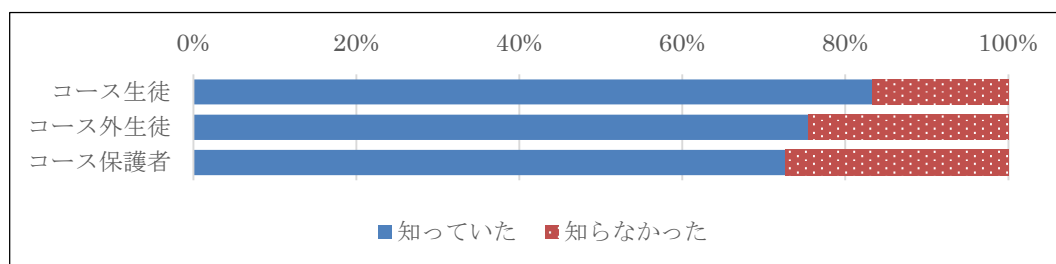
### 【天羽高校】

#### ア 生徒及び保護者アンケート調査

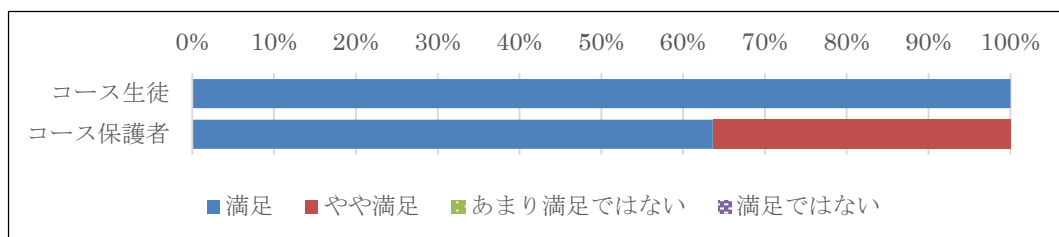
##### (ア)アンケートの実施

- ・実施時期 令和4年12月
- ・回答数 コース生徒12名、コース外生徒53名、コース選択者の保護者11名  
(コース選択者14名)

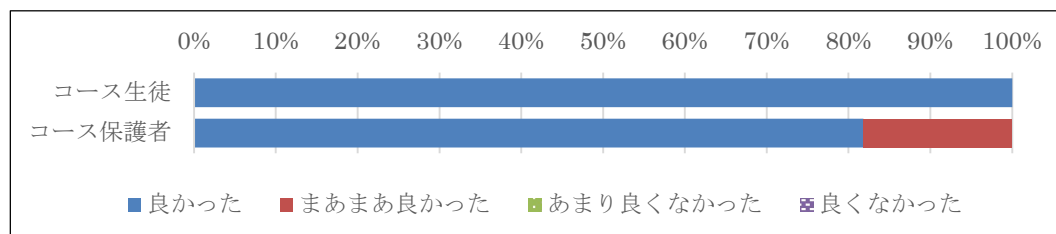
##### (イ)受検前に「工業基礎コース」があることを知っていましたか。



##### (ウ)「工業基礎コース」の授業内容に満足していますか。



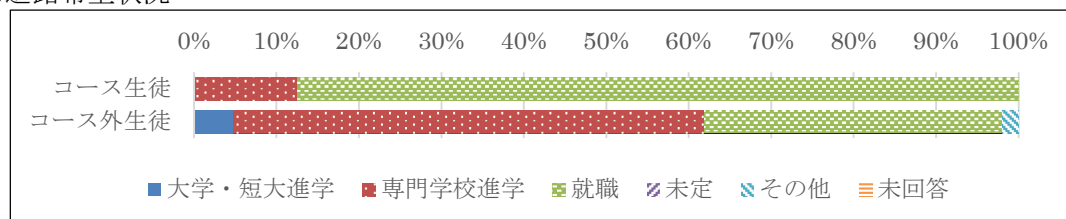
##### (エ)「工業基礎コース」を選択して良かったですか。



##### 【コース生徒の主な理由】

- ・楽しく学べた。
- ・就職に役立つから。
- ・職場に近い環境のようで、工具も豊富にあることが良かったから。

##### (オ)進路希望状況



##### ※コース選択者

- 【専門学校】日本自動車大学校 千葉医療福祉専門学校など
- 【就職】日鉄物流など

## イ 当該校への聴き取り(抜粋) ※令和5年3月実施

### (ア)「工業基礎コース」の目標や特色

- ・工業に興味・関心を持ち、将来、工業系の企業への就職を視野に入れた生徒に基礎的な資質・能力を身に付け、職業意識を育むことを目標としている。
- ・「工業基礎コース」の学習内容に興味関心を持ち、工業系の資格を取得し進路活動に役立てたいと考えた生徒や、元々工業に興味があり、工業系企業への就職を希望している生徒がコースを選択している。
- ・職員の数や設備の規模に応じた人数(学年の生徒数の1/6)を定数としている。

### (イ)学習への取組

- ・「工業基礎コース」の生徒は、学習や学校行事、部活動などで、他の生徒と違い、文化祭などで授業での制作物を展示し、資格取得にも意欲的にチャレンジする生徒が多い。
- ・1学年では、工業系の企業に就職を希望する生徒が早くから準備に取り組むことができるようにするため、総合的な探究の時間等において、地元企業などについて理解を深める時間を作った。

### (ウ)「工業基礎コース」設置の成果

- ・外部講師として招いた企業へ生徒の内定者が出たり、求人をいただく等の繋がりが増えた。
- ・資格取得等を活かしてすべての生徒が進路を決め、工業系への道を選んだ生徒も多かった。

### (エ)現在の課題

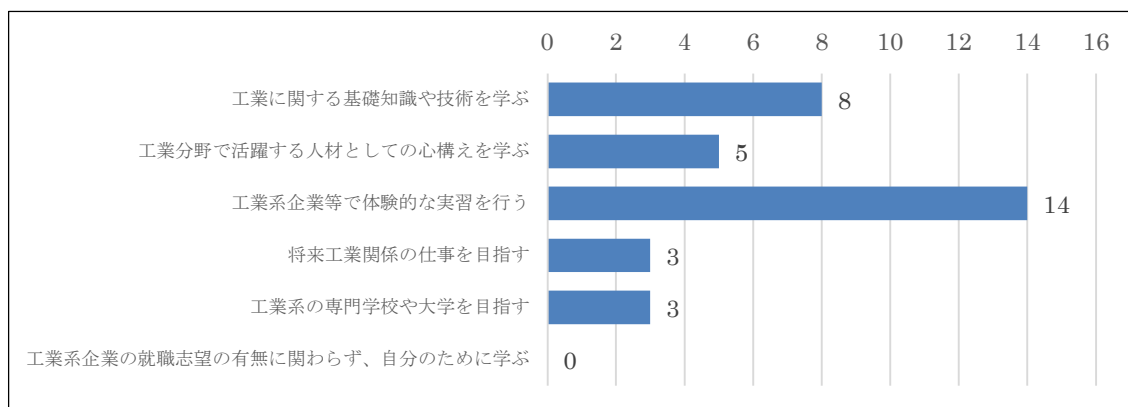
- ・教員1名、実習助手1名と加配が少ない。それにより「工業基礎コース」の定員も少数にせざるを得ないため、自校でのアーク溶接やフォークリフト等の講座を開講することができない。

### (オ)近隣中学校からの評価

- ・「工業基礎コース」のみならず、高校での学び直しや教育相談、特別な支援を要する生徒への配慮に期待する声が多い。

## ウ 近隣中学校(17校)へのアンケート

### (ア)「工業基礎コース」の取組として、良いと思うものはどれですか(各中学校2つまで)



(イ)中学校からの意見(抜粋)

- ・まだあまり知られていないように思うので、PRを増やして、志願する生徒が増やせるとよい。中学校でもキャリア教育の一環として、情報を広げられるように努めたいと思う。
- ・地域連携アクティブスクールとして、地域でしかも工業系企業で活躍されている市と連携をとり、それが就職につながっているという。進学実績が今まで以上に発信できると、より魅力ある学校になるかと思う。
- ・生徒一人ひとりに手厚い指導をしてもらっていて、ありがたいと思う。感謝している保護者も多い。その一方、まだまだ「工業基礎コース」について、知らない人が多く非常にもったいないと思っている。広報活動により一層力を入れてほしい。
- ・卒業生の動向を、今後、積極的に発信していただければ、教師も生徒も関心を持てると思う。
- ・君津地区には近くに工業高校が少ないため、千葉市や館山市まで通っている。天羽高校はもっと工業を前面に出して改革してほしい。
- ・工業に関する知識と技術を着実に身につけ、地域産業に貢献できる人材の育成を期待したい。
- ・免許や資格がしっかり取得できるとよいと思う。
- ・高校卒業後、企業等で即戦力となりうる人材を育成できるよう、礼儀や社会人としての心構えを学ばせることが大切である。
- ・普通科とは違う学びに魅力を感じているので、卒業後に役立つスキルをどんどん身につけさせてほしいです(資格等も)。
- ・工業地域に近い学校として、目的が明確であり、良い取り組みであると考えている。地元で学び、地元で働いていけるような流れを、これからも維持、発展させていってほしいと期待している。
- ・更なる地域との連携に期待する。
- ・具体的にどのような企業とのインターンシップ等を実施しているのかわからないが、高校卒業後の進路を考えるうえで、より具体的な目標を持つきっかけとなるのではないかと期待している。

### (3) 福祉コースの設置

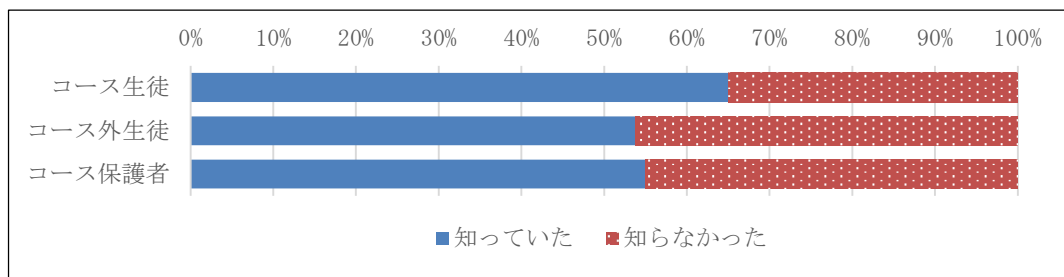
#### 【犢橋高校】

#### ア 生徒及び保護者アンケート調査

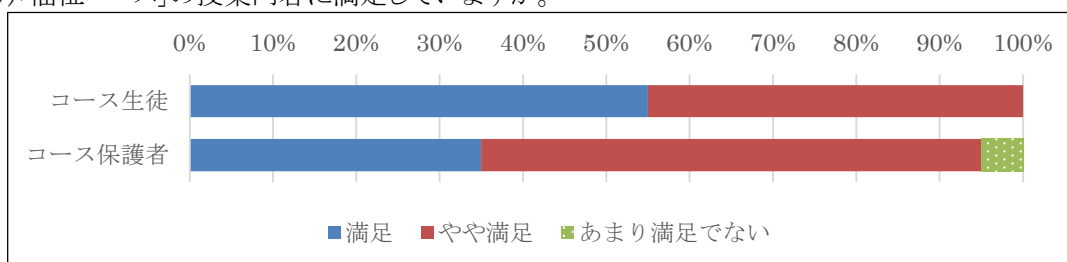
##### (ア)アンケートの実施

- ・実施時期 令和4年12月
- ・回答数 コース生徒20名、コース外生徒210名、コース選択者の保護者20名  
(コース選択者20名)

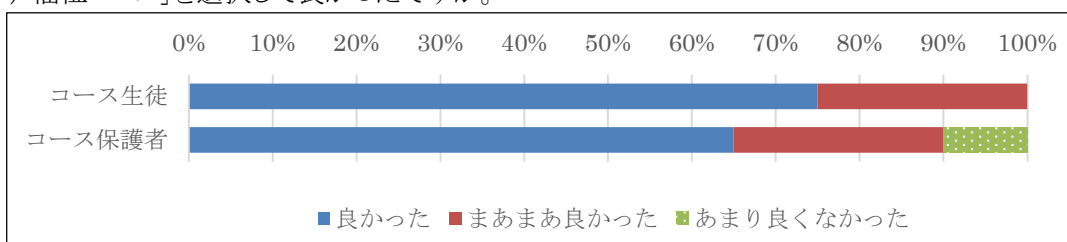
##### (イ)受検前に「福祉コース」があることを知っていましたか。



##### (ウ)「福祉コース」の授業内容に満足していますか。



##### (エ)「福祉コース」を選択して良かったですか。

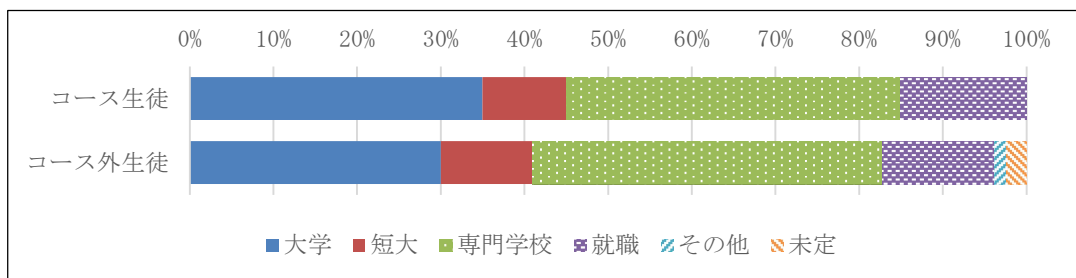


#### 【コース生徒の主な理由】

- ・実習が大変だったけど楽しかった。
- ・ためになったから。
- ・福祉を学び興味が湧き、福祉系の大学に進学することになったから。
- ・興味のあることを学べた。
- ・福祉コースに入ったおかげで普段生活して上では学べない介護、障害、児童支援など実生活にも活用出来るような内容を学ぶことが出来た。そして福祉コースは2年間クラスが変わらないのでその分友達との関係も深くなり、良かったと思う。
- ・資格が取れる。
- ・授業も理解しやすく、黒い福祉の見方を変える事が出来たから。
- ・手の洗い方とか実際医療現場で働いている人たちと同じやり方を教えてもらって将来の自分のためになっているから。
- ・将来、歳をとった時に必要な知識を手に入れることが出来た。
- ・選択授業がない。



(オ)進路希望状況



※コース選択者

- 【大学進学】 6名（福祉系 6名） 淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科 等
- 【短大進学】 2名（福祉系 1名） 千葉経済大学短期大学部子ども学科 等
- 【専門学校】 8名（福祉系 4名） 中央介護福祉専門学校介護福祉科 等
- 【就職】 3名（福祉系 1名） 社会福祉法人八千代美香会（介護職）等
- 【未定】 1名（進学希望）

イ 当該校への聴き取り(抜粋) ※令和5年3月実施

(ア)「福祉コース」の目標や特色

- ・すべての年代の福祉に対応できる専門知識や技術を習得するとともに、対人支援者としての心構えや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成。
- ・福祉に関する資格取得「介護職員初任者研修課程修了」を目指す。
- ・様々な機関と連携し、地域福祉を推進させる。

(イ)学習への取組

- ・福祉関係の就職、進学を考えている、対人支援の知識や方法を学びたい、両親や祖父母の介護等に役にたつという理由からコースを選択している。
- ・福祉の学びを通じて、受容、共感や相手との距離感の取り方などコミュニケーション能力が向上するとともに、社会にある福祉的な課題について関心を持ち行動することができるようになった。

(ウ)「福祉コース」設置の成果

- ・福祉コースで学びたい生徒が増えた。
- ・様々な外部機関との連携が実施しやすくなった。（高大連携など）

(エ)現在の課題

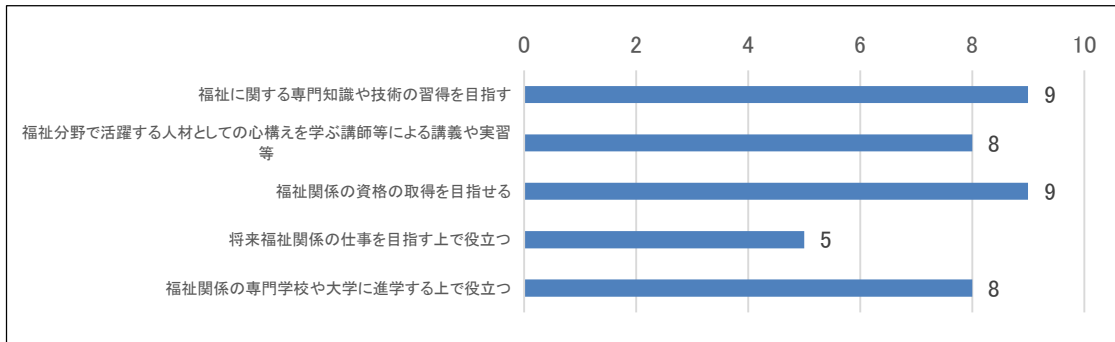
- ・定員があるので、福祉コースを目指したのに学べない状況がある。

(オ)近隣中学校からの評価

- ・現状のカリキュラムでよいが、情報発信をもっとした方が良いという声が多い。

## ウ 近隣中学校（17校）へのアンケート

(ア)「福祉コース」の取組として、良いと思うものはどれですか(各中学校2つまで)



### (イ)中学校からの意見(抜粋)

- ・福祉コースの情報や案内を増やしていただいたい。(中学生が将来のキャリアに向けて考えられるように)
- ・福祉関係の資格の取得のみに特化することなく、自らの家族を介護するのにも、意義のあるコースとなることを期待している。
- ・高校卒業後、生徒が福祉関係の仕事をしたという気持ちが更に強まることを期待する。
- ・福祉コースは少子高齢化社会のニーズに合致していると思う。情報発信を加速させ、福祉コースの魅力がより強く周知されればと期待する。
- ・手に職をと考えたときに、福祉の資格を高校3年間で取得できるのは強みになると思う。高校で将来の進路選択を模索する生徒も多いですが、より早く専門的な学習や知識が修得できるほうがよいと思う。福祉科のような「専科」も1つの案ではないか。
- ・情報の発信だと思う。現在の校長先生の犢高点描など学校の様子がわかりやすく伝えられており、よい取組である。
- ・介護職員初任者研修課程修了資格取得が確実にでき、介護福祉や認定介護福祉士へのステップアップの足がかりになるとわかれば、志願者にとって大きな魅力になると思う。
- ・中学校や生徒・保護者への広報を期待する。

### 3 外部関係団体の意見

#### (1) 意見聴取先

##### ア 全般的に聴取する団体（7団体）

- 千葉県高等学校長協会
- 千葉県中学校長会
- 成田市教育委員会（成田北）
- 四街道市教育委員会（四街道北）
- 市原市教育委員会（姉崎）
- 富津市教育委員会（天羽）
- 千葉市教育委員会（犢橋）

##### イ コースについて聴取する団体（16団体）

###### （医療コースの設置）

- 国際医療福祉大学（成田キャンパス）
- 千葉県歯科医師会
- 一般社団法人日本グリーンフ専門士協会

###### （保育基礎コースの設置）

- 千葉敬愛短期大学
- 植草学園大学
- 四街道市社会福祉協議会

###### （ものづくりコースの設置）

- 株式会社チバコー
- 株式会社オカモト
- 市原市商工業振興課
- 学校法人小倉学園東京自動車大学校

###### （工業基礎コースの設置）

- 日本製鉄 株式会社
- 出光興産 株式会社
- 株式会社 荏原製作所

###### （福祉コースの設置）

- 淑徳大学（千葉キャンパス）
- 社会福祉法人 八千代美香会
- 千葉市立犢橋中学校

## (2) 主な意見

### ア 医療コースの設置（成田北高校）についての意見

- ・医療コースについては、チーム医療を気づかせる意味で、成田北での取組の意義は大きい。
- ・医療コース設置当初から生徒は勤勉である。自分が希望していない職種の内容の講義においても真面目に取り組んでおり、その結果、当初の希望職種から変更したという生徒もいると聞いている。そういった成果を聞くと、授業を提供して良かったと感じる。
- ・医療コースの設置に伴い、医療コースを目的に市外からも通う生徒がいると聞き、医療に関して興味を持った生徒が入学する学校へと、当初の印象から大きく変わった。授業においても中途半端は出来ないと感じている。
- ・高校側とのやりとりも円滑で、特に改善すべき点が見当たらない。今後とも連携していきたい。受験生の増加が顕著である。一般的にあまり知られていない医療系の職種についても認知されるようになり、志願者増につながった。
- ・目に留まりにくい職種を知ってもらい、将来の進路において選択肢の一つになると良い。
- ・一生懸命取り組んでいて、熱心さが伝わってくる。講義を担当する時期が年度の終わりの方であるため、医療に関する様々な業界の講義を聞いて、進路等について考えを絞っている印象を受けた。
- ・現状、歯科衛生士と歯科技工士の内容で60分だが、歯科衛生士と歯科技工士それぞれの内容を60分ずつやっても良い。関心のない生徒も取り込むような形式でやってみても面白いと思う。
- ・医療系人材について、人材は足りていない状況のため、一人でも多く欲しい。出向いてでもアピールをしたい。
- ・学校内にコース専用の絵本や児童文学、紙芝居、専門書などのコーナーが設置されて、蔵書が増えてくるのがいいのではないかと思う。
- ・興味深く話を聞いてくれており、非常に熱心に取り組んでいる様子であった。
- ・死別などを主としたテーマにいち早く関心を持ってくれたことを非常に嬉しく思う。こうした繊細なテーマを理解することで、他者への配慮など、他の事柄においても理解が進んでくる。グリーフケアは、コミュニケーションの基本となる考え方を伝えられる可能性がある。今後、より一層の拡充を期待したい。
- ・学校で取り組んでいる情緒教育の一環として、「グリーフ（喪失・離別）」の概念を理解する機会を取り入れて欲しい。また、子どもが傷心する要因の多くが学校現場にあることから、学校教育への導入や教職員へ向けた講話を行いたい。小中高校段階でグリーフの概念を知ることが大切であり、この広がり「医療」の是正にも繋がってくる。
- ・様々なコースを設置することや色々な体験をさせてあげられることは、非常に大事な要素である。ただし根底には、先生方一人一人の指導力向上などがある。+αでその学校の色が出て、子ども達に選ばれる学校になると良い。

#### イ 保育基礎コースの設置（四街道北高校）についての意見

- ・この学びは、保育職に就いたときだけではなく、将来親になったときにも役に立つものであるので、しっかり学んでもらっていて嬉しいし、先生方が熱心に教えてくれているのだと思う。
- ・家庭科の先生への負担が大きい。家庭科の先生だけでなく、国語（読み聞かせ）・音楽（ピアノ）・美術（絵）・体育（子供との遊び方）・理科（自然の観察）など幅広い教科の先生方から学ぶコースだと思っているので、学校全体で取り組んでもらいたい。
- ・保育だけではなく、関連の深い福祉や特別支援などについても幅広く学んでいる。
- ・授業中の態度から、興味関心を持ち、しっかり学ぼうという意欲が伝わってくる。
- ・先生方が日頃からとても熱心に丁寧に指導をしており、多忙だということもよくわかる。
- ・保育の技術（紙芝居、ブックトークなど）だけではなく、その根底にある「子どもの福祉」などについても、高校でどう教えているのか知りたい。
- ・今の保育の現場は、より専門的で幅広い知識を習得した保育者を求めており、大学で4年間しっかり学んだ学生のニーズが増えている。高校卒業後の進路選択に際しては、保護者の意向も大きく影響するため、家庭を巻き込んだキャリア教育が必要であると感じる。
- ・昨年のイベントではとても緊張していた様子だったが、参加してくれた乳幼児の反応を見て急遽プログラムを変更するなど、その場に応じて臨機応変に対応することができていて感心した。生徒が日々いろんなことを考えて学んでいること、先生方がしっかり教えていることがよくわかった。
- ・実際にどのような学びをしているのか、昨年に高校から相談を受けるまでは知らなかった。もっとPRするべきだと思う。早いうちから、合う・合わないという判断ができるのは良い。
- ・卒業後の進路がより明確になるとよい。

#### ウ ものづくりコースの設置（姉崎高校）についての意見

- ・第9学区の工業を学びたい生徒は木更津高専を目指し、難しければ千葉工業や専門分野を変えて君津商業を目指していたが、姉崎にコースができて良かった。生徒は、素直で礼儀も正しい。先生の指導の結果かと思う。
- ・生徒は世の中の企業や仕事を知らない。早めにそれを実際に見聞きする機会を与えることができるのは、良いことである。
- ・技術や知識は社会に出てからも学べる。選択肢の数を早めに知る機会があれば、生徒には有意義だ。企業との連携をさらに高めてほしい。
- ・市原市臨海部の工業系企業より、地元の高校生を採用したいという強い要望がある。特にコロナ明けから、地方から出てきて就職している人が辞めて地方に帰っていることもあり、さらに地元の学生を採用したい意識が強くなっている。子どもの数も減り、就職者も減っている中、姉崎高校への期待は高い。
- ・礼儀正しく、企業紹介などの事前授業の際も熱心に前向きに聞いている様子であった。
- ・工業系だけに、男子生徒が多い。女子生徒にも広がっていくと良い。ものづくりでもカリキュラムなどに、デザイン系の学びを入れても良いのではないかと。企業からは女子もほしいとの声がある。
- ・先進的な技術を学べる機会が、学びの中に入っていると意識向上につながりやすい。
- ・姉崎高校の生徒は、きちんとしていて礼儀正しい。ものづくりコースの生徒はもとより、普通科の他コースの生徒もすれ違うたびに挨拶をするので素晴らしい。出前授業の際は、興味を持って聞いている様子であった。
- ・普通科の中に専門の学びにも触れることができるコースは良いと思う。地元の企業と連携することで地元に目を向けてもらえる。

- ・施設・設備をもっと整えていくと、興味を持ってもらえるのではないかと。また、ものづくり担当の先生のような企業出身の先生を増やして、専門的な学びや技術を取り入れていけると良い。
- ・生徒は、あいさつは大きく、きちんとしていて礼儀正しい。普通の工業科の生徒のように見える。しっかりした子たちだというイメージを持っている。良い厳しさをもって先生方が指導しているので印象はすごく良い。
- ・工業科の学校に人が集まらない現状を鑑みると、普通科でも専門の学びにも触れることができるコースは柔軟性があって良いと思う。工業の学びの新しいスタイルとして、ものづくりや工業基礎コースは良いことである。高校生を受け入れる側の立場からすると、高校の段階で使う機械を知ってくれているのはありがたい。
- ・工業に限らず、もっと普通科にコースを設置して柔軟に学べる学校が増えてくれるとありがたい。まずは興味関心、意欲を持たせて、その分野を好きになってもらえるコースがあると良い。教員で全て何とかするよりか、外部にいる一般の方々を活用して、外の社会を高校の中に入れた方が良いと思う。
- ・普通科の枠で専門的な学びに触れられることは大きなメリットである。改善点としては、普通科の高校なので、既存の建物で工業の学びができる施設・設備を入れられる限界があるのではないかと。
- ・地元には受け皿が多いので、オンラインでの出前講座など、間口を広げて対応している。普通科の中で工業のコースを選べることはメリットである。その反面、興味を持った生徒に対してのもの足りなさもあるのではないかとという心配もある。

## エ 工業基礎コースの設置（天羽高校）についての意見

- ・子どもたちは熱心に取り組んでおり、本市のみならず、ものづくりに興味のある生徒が入学していると授業を見て感じた。
- ・施設設備の面での更なる充実が難しいとの声を聴くが、指導される先生の熱意を十分に感じている。今後、工業関係の企業に着実に就職できるよう、企業との連携を一層強めていってほしい。天羽高校に入学すると日本製鉄に就職できるというような認知が広がれば、生徒も集まるのではないかと。
- ・少子化が進む中であるが、天羽高校の魅力の1つとして、知名度を高め、工業基礎コースを目指す生徒の入学を期待している。キャンペーン活動をした方がよい。
- ・もっと宣伝した方がよい。普通科よりもコース選択者に入社してほしい。
- ・基本的な工作系技能を持った人材と、プログラミング分析等の特定の分野で秀でている人材を育ててほしい。
- ・全体的におとなしく、物事に取り組む気概や姿勢が見えず、消極的な印象を受けた。
- ・工業全般について学ぶことができる制度、仕組みは素晴らしい。中学生も含め、生徒が制度や仕組みについてどこまで理解しているか。工業高校とコースの違いを理解した上で入学してもらいたい。
- ・工業高校との差別化が難しい。コースで学ぶメリットを広報して周知すべき。
- ・中学生やその保護者に職業意識を考えさせる取組を多く実施すべき。
- ・先生方の創意工夫で創作や実験のための少ない設備の中で環境を整えようと努力している。工業高校のない学区に工業を学べるコースを設定することは素晴らしい。
- ・加工の基本である旋盤は需要があり、応用が利く。旋盤（1m以上）やNC旋盤を学べるように設備を整えると、より魅力のあるコースになる。

## オ 福祉コースの設置（犢橋高校）についての意見

- ・授業に積極的に参加している。手も挙げるし、発言もする。大学としても、大学の学びを知ってもらい、興味を持って、進学にまで繋がってくれると嬉しい。
- ・コースの存在がより認知されれば、もっと希望者や進学者が増えてくれるのではないか。
- ・ニーズがあることは良いが、学校側の福祉の教員数や、研修のセッティングといった受け入れ体制を整えば、より受け入れやすくなるのではないか。
- ・高校生からすると、福祉＝介護となりがちだが、福祉にはそれ以外にも、いろいろな福祉のかたちがある。それを伝えることができると嬉しい。実習など、体験的な学びを入れ込むことを通じて展開すれば、学びの中身がより定着していくのではないかと思う。
- ・授業中の態度は素晴らしい。生徒作成のレポートを見ると、かなり深いところまで理解してくれていると感じる。
- ・手動ベッドで実習したからといって現場でとまどうことはないと思うが、それでは生徒がかわいそうだ。
- ・次世代の子に教える機会をもらえてありがたい。高校生へ教えることを通じて、我々も自分たちの仕事のことを再認識することができている。
- ・家族の理解度が生徒の進路に与える影響は大きい。保護者へのアピールが重要。
- ・20名という定員人数が少ないと感じた。入学してから希望制で実施しているとのことで、希望が外れた生徒がいた場合は、かわいそうであると思った。

## カ 再編全般についての意見

- ・全体として、キャリア意識の醸成に効果を上げており、各学校の特色化が、中学生の志望動機につながっている。キャリア意識については、「実際に資格を取得する」ことも大切ではあるが、「資格を取得することの大切さ」を学ぶことの方が意義は大きいと感じる。大人になってからのリスキリングにもつながる。
- ・学校ホームページを見てもコースについて紹介するページが見当たらない学校や、ページはあっても、写真が少なく、魅力が十分に伝わるような構成にはなっていなかった。広報活動が弱い部分については、学校も努力しているだろうが、人手不足などところもあるのではないか。
- ・コース選択者は高い目的意識を持っていると感じた。早い段階で医療従事者としての意識を醸成するためにも学校全体で医療コースを後押しする必要がある。コースを設置する他の県立高校にも同様のことが言える。
- ・コースの設置など専門性のある学習への取組は、将来を考える選択肢においてプラスになると思う。専門性のある学びがあることで将来の選択肢が広がるなど、キャリア教育において県教育委員会側からの仕掛けとしては良いと思う。
- ・人口減少や少子高齢化、情報化等、急速に社会が変化している中で特色あるコースや職業科が必要になってくると思う。そのためには、専門的な指導ができる人材や施設設備の充実が必要不可欠である。
- ・公立高校は、制限がある中で努力している。コースの設置等、改革が進んでいる印象がある。生徒が集まらないと運営が難しいこともわかる。私学よりも発信やアピールが弱い。
- ・少数の希望者であっても、特色を持ち、一人ひとりの個性に合った道を見つけ、自己表現できるよう取り組む学校があってもいい。
- ・外部の機関や人材との連携により深い学びが提供されていると感じる。学校全体での取組として、各教科の横断的な視点やカリキュラムがあると良い。

- ・コース設置は、中学生が高校を選ぶ一つの目当てとなり、高校卒業後の進路を見据えたものになるため有意義なものになると思う。医療コースにおいて不足しているものがあるとすれば、実習かもしれない。
- ・様々なコース設置等、動機付けとしてよい取組であり、もっと特色を出していくべきである。県立学校と業界が連携できれば、もっとPRができると考えている。
- ・工夫されている取組が多いと感じる。
- ・「総合的な探究の時間」は、様々なことに取り組んで自分の課題を発見する時間でもあるので、学年行事等だけではなく大学のコンテスト等をうまく活用してもらいたい。
- ・医療系や工業系は、コースを選んだ子がその道を選ぶ割合が高い。普通科の中にあるコースなので、選択肢が増えること、幅広い体験をすることは学生にとってメリットである。
- ・学びを増やしていくことは良いことである。専門的な学びに目を向けさせることができれば、進路につながる。
- ・同じ普通科の工業コースとして同時期に設置した。大きな違いがあるわけではないが進路状況として今まで就職が多い学校であった。工業基礎コースができて、より工業への関心は高まっているが、素地があった分であると考えられる。姉崎の方が、進学者は多い。
- ・普通科の中に、コースがあることは良い。選択肢が拡がり、良い意味で抵抗感がなくなる。
- ・姉崎高校の「ものづくりコース」の発表会を見たことがあり、良い取組だと思う。
- ・中学生やその保護者に出向いて職業観を伝える機会を設定して欲しい。外部の力をより使うことで、専門的な話や聴く力が養われる。技術者の派遣をして欲しい。
- ・檜橋は実習の時間が少ない。学校内では生徒が役割を交代して実習をしているものの、実際の利用者と触れ合う機会を持っていない。現地で実習をやると違う。自分が働くイメージに直結する。
- ・近隣の普通科も定員割れしている状況も出てきているし、急速に通信制（サポート校）や私立高校への進学傾向にあるので、再編成が必要と考える。

#### キ 今、社会が求めている人材についての意見

- ・主体性、実行力、課題設定・解決能力などが求められている。
- ・「コミュニケーション力」をどの場面で育成するかということも大きな課題である。
- ・挨拶や礼儀、時間を守る等、当たり前のことを確実に身に付けた上で、目標を持ち、目標の実現に向けて主体的に努力をすることができる、粘り強く（継続して）取組ことができる、人間関係を築いていく力がある人材。
- ・変化に対応できる人、粘り強く取り組み困難を乗り越えられる人、意見を交わすことができる人、コミュニケーション力が高い人、グローバルな視点を持っている人、やることが多い時代だからこそ、個性を伸ばせる人。
- ・工業基礎コースで学習したことによって、自信を持って人とコミュニケーションが取れる人材になってほしいと思う。
- ・社会的・職業的な自立ができる人材。様々な困難を乗り越えられる人材。
- ・自己研鑽ができる、自ら考え自分で行動できることが、医療人としてもそれ以外の人材としても必要だと考えている。
- ・人間関係が非常に大切である。学問に+αで学ぶことが大切。部活動でも良い。コミュニケーション能力は勤務場所の大小に関わらず、大切なことである。



- ・自分をしっかりと見つめられる人。自分の弱さや現実、自分の適性を理解している人。多様性を認められる人材。
- ・客観的に「正しい」と思えることを、人の評価を気にせずにやり遂げる力のある人。
- ・自分の課題に気づくことができる人。
- ・自分の考えを持って、それを行動に移せる人。
- ・与えられたことだけではなく、考えて動くことができる、目標を持ち、主体的に動ける人材。コミュニケーションを取れて、チームワークができる人材。
- ・不足する人材を補えるようなニーズがある学びを取り入れてほしい。
- ・ものづくりでも何でも、新しい技術が生まれて、取り入れられていく中で、それを楽しめるかどうかは大切である。新しい価値が求められている。
- ・DX化を進めているところだが、人材不足である。情報の収集や分析ができる人材が必要である。起業する人が少なくなっている。そういったコースがあっても良い。
- ・ひと昔前はコミュニケーションスキルとか、多くを求めていたが、今はそもそも人材が不足している。整備士業界では、いまや車が好き、バイクが好き、機械いじりが好きならその他の面は目をつぶる傾向がある。興味を持っている子の方が勉強できる子よりも伸びていく。興味がなくても、「資格取得のため」というような明確な目的意識を持っている子も伸びる。
- ・先を見据えて行動できる人。話を聞き、内容を理解したうえで自分の考えを持ち、発言することができる人。
- ・自分自身で論理的に考えることができる人。一般教養だけでなく、リベラルアーツを身に付けた自分自身の意見を持つ人。中国の学生はハングリー精神を強く持ち、日本に対してのライバル意識も高い。国際競争に負けない語学力（英語やスペイン語）のある人材を育成すべき。
- ・失敗したり、恥をかいたりすることが苦手で、不測の事態に対して自律的に状況判断しながら前向きに柔軟に立ち回り問題解決していける人が少なくなっている。他責思考に陥らず、逆境に対しても動じることなく対処できる人材であれば、どの社会でも活躍できる。
- ・福祉に関して言えば、丁寧な対応や親身となつての対応ができる人材が、必要である。

#### ク 県立高校に期待すること、県教育委員会が進めている「県立学校の魅力づくり」についての意見

- ・カリキュラムがきっちりしすぎていると、時間的に余裕がなく、生徒にも余裕がなくなってしまう。オンラインの活用による出席認定や、配信授業による単位認定の柔軟化も今後検討が必要である。
- ・一部の教職員や生徒の頑張りで成立する枠組みではなく、学校全体で運営できるように県が支援することが必要。
- ・研修が義務付けられている公立高校の教員の授業は、最新の内容であり、工夫されているのだから、いつでも授業参観できるような体制を作り、積極的に広報するべきである。
- ・義務教育時代に不登校であった生徒を受け入れることができる教育環境や柔軟な出席の取扱い等の対応が必要ではないか。
- ・予算を確保し、校舎や部活動における施設整備を進めてほしい。
- ・中学生に伝わっていないところもあると感じるため、さらにPRしていくとよい。将来の職業選択につながる学びとなるため、今後も社会状況の変化をとらえて県立高校の魅力づくりを推進していただきたい。

- ・学科等の再編だけでなく、施設を充実させることや教員の配置を増やすこと、1学級あたりの生徒数を少なくすることが県立高校にも必要である。
- ・この学校に行くこんなことが学べる、こういう仕事に就けるといような、学びの内容とその先がわかりやすいと選ばれやすい。
- ・私学と公立の役割が変化してきていると感じる。少子化の中にあって、自信をもって社会に出ていくための自己表現を見いだせる高校として県立高校の役割がある。
- ・生徒に魅力的な学校であることを期待したい。学力よりも生徒の適性から受検できる仕組みがあると良い。中高連携は、中学校側も高校各校の特色を知る良い機会である。
- ・教員の配置に課題を感じる。専門教員による指導ではなく、各教科での取組として考えられると良い。
- ・コースの中に「ゼミナール」のような細分化されたものがあると生徒の学びが深まると共に、その後も選べるといった柔軟性があると感じる。分かりやすい学科名の推進や、魅力的な名称（学校名やコース名）の検討ができると良い。
- ・高校を卒業した生徒の様子が分かると中学生も職員も安心する。早い段階からの進路指導が必要である。高校がやっていることを中学校も広く知る機会があると良い。
- ・コース設置が、高校卒業後の進路までを考える機会を提供しているものになっており、それが魅力となっている。まだまだ知られていない職種・分野に焦点を当てたものがあると、進路において新たな気づきとなると思う。
- ・PRをもっとした方が良い。内容が充実しているだけにもったいない。例えば、〇〇コースといえば〇〇高校といった形でPRしてはどうか。バックアップするので、相談して欲しい。
- ・実務家の話を聞くことが大切である。知識を伝えることと、「現場」を知る人が話をすることは大きく違う。「響く話」を考える上で、「誰が話すか」が重要である。
- ・再編をするならば、施設、設備、人員配置、予算の面でしっかりと支援してあげるべき。様々な専門学科やコースがあることを中学校の先生にも学んでもらう機会があると良い。
- ・いろいろな学びや職業を実際に体験することは、とても大事だと感じる。県立高校の学びや、その先にある職業を中学生や小学生のうちから触れてもらいたい。
- ・千葉県の産業は多様である。原点回帰で「専門高校の設置」の考え方もあるのでは。また、新規事業も大切だが、すでにある事業を廃止することも大切だと思う。
- ・コース名や具体的な内容など、いろいろな人に知ってもらえるよう広報をして欲しい。中3のときに知るのでは遅い。中学校入りたての子や小学生、その親に向けて情報を下ろしていかないと遅い。
- ・社会人になるための意識を高める教育をしてほしい。生徒が就職先の選択を、アルバイト先を選ぶのと同じように考えている気がする。様々な職業のことを知ることで、意識を高めることができるのではないか。「工業科」だと引いて見てしまう方でも、普通科にあるコースならば、抵抗感は薄いだらう。
- ・他県を見ると、マンガ科など色々な特徴があるコースが出てきている。他もやっているからやるのではなく、今何が望まれているか、リサーチをしてから検討してほしい。
- ・地元への就職や地域の活性化という観点からは、ものづくりコースができて良かった。生徒のものづくりへの意識が醸成されている。工業科だと専門的すぎて選ばれにくい現状がある中で、こういったコースで選択肢が広がることはよいことである。小中学生へもっと広報をして、この取組を周知してほしい。

- ・学校ごとの特徴や学びの違いをもっと明確に打ち出してもよい。高校と県教委が繋がる魅力づくりのネットワークがあると良い。部活やイベントの内容で高校を比較できるものがあると良い。情報発信にあたっては、中学生やその教員にもわかるようにしてほしい。仕事体験イベントを実施し、千葉県内の専門学校に参加してもらってはどうか。
- ・小・中学校へのPRが少ない。小・中学生に高校の魅力やコースの魅力を伝える場があると良い。また、PRの仕方はわかりやすく、具体的な説明をする必要がある。例えば、コースに入ると何ができるか。何の資格が取れるのかなど。
- ・少子化は予見されるため、効率的で効果的な再編の加速が必要と思われる。
- ・大学進学を見据えると、普通科が一番の選択肢になるため魅力化が難しい点もある。小・中学校の生徒にコースの魅力を伝えることで意欲のある生徒の募集ができると感じる。
- ・実施プログラムで再編対象となった学校には特色がつくが、それ以外の全日制普通科の学校はどうなるのか。福祉の学びは、学区に1つある状況だが、学区によってはもっと必要かもしれない。
- ・学校ごとにさらに魅力を全面に打ち出していくことが大切であると思う。

#### ケ その他

- ・まずは管理職が「自分の学校をどうしたいのか」「自分の学校をどうするべきか」をもっと考えないといけないと思う。高校は、大学・短大などの力をもっと借りるべき。出前講座など、どんどん活用したら良い。

#### 4 基礎データ

##### (1) 志願状況

##### ア 医療コースの設置

○成田北高校（普通科）

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者確定数	倍率	
R元	280	168	291	1.73	112	142	1.27	
R2	280	168	317	1.89	112	135	1.21	コース設置
R3	280	280	276	0.99				選抜一本化
R4	280	280	292	1.04				
R5	280	280	338	1.21				

##### イ 保育基礎コースの設置

○四街道北高校（普通科）

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者確定数	倍率	
R元	240	144	299	2.08	96	172	1.79	
R2	240	144	254	1.76	96	133	1.39	コース設置
R3	240	240	282	1.18				選抜一本化
R4	280	280	319	1.14				
R5	240	240	287	1.20				

##### ウ ものづくりコースの設置

○姉崎高校（普通科）

年度	募集定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者確定数	倍率	
R元	160	96	132	1.38	64	68	1.06	
R2	160	96	139	1.45	64	76	1.19	コース設置
R3	160	160	145	0.91				選抜一本化
R4	160	160	159	0.99				
R5	160	160	183	1.14				

## エ 工業基礎コースの設置

○天羽高校（普通科）

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
R元	120	96	83	0.86	42	14	0.33	
R2	120	120	90	0.75	37	11	0.30	コース設置
R3	120	120	77	0.64				選抜一本化
R4	120	120	55	0.46				
R5	120	120	49	0.41				

## オ 福祉コースの設置

○犢橋高校（普通科）

年度	募集 定員	前期選抜			後期選抜			備考
		予定 人員	志願 者数	倍率	募集 人員	志願者 確定数	倍率	
R元	280	168	246	1.46	112	133	1.19	
R2	280	168	251	1.49	112	131	1.17	コース設置
R3	240	240	255	1.06				選抜一本化
R4	240	240	257	1.07				
R5	240	240	237	0.99				

(2) 令和4年度(令和5年3月卒業生)の進路状況

ア 医療コースの設置

○成田北高校の卒業生(コース選択者43名)

種別	人数	割合	主な進路先	(参考) R元年度 割合*1
大学	16	37.2%	国際医療福祉大学、順天堂大学、帝京平成大学、 秀明大学 等	40.8%
短大	0	0%		5.7%
専門学校等	24	55.8%	日本医科大学看護、二葉看護、八千代リハビリテ ーション 等	42.1%
就職	0	0%		5.4%
その他	3	7.0%	未定	6.0%
合計	43*2	100.0%		100.0%

※1 令和元年度の3年生316名に対する割合

※2 コース選択者43名のうち、医療系進路34名(79.1%)

イ 保育基礎コースの設置

○四街道北高校の卒業生(コース選択者17名)

種別	人数	割合	主な進路先	(参考) R元年度 割合*1
大学	1	5.9%	淑徳大学	17.5%
短大	6	35.3%	植草学園短大、千葉経済短大、千葉明德短大、 聖徳短大	11.8%
専門学校等	7	41.1%	千葉女子専門学校、千葉こども専門学校、アイエ ステティック専門学校、国際トラベル・ホテル・ ブライダル専門学校、尚美ミュージックカレッジ	47.1%
就職	1	5.9%	株式会社ディーシーエム	17.0%
その他	2	11.8%	未定	6.6%
合計	17*2	100.0%		100.0%

※1 令和元年度の3年生229名に対する割合

※2 コース選択者17名のうち、保育系進路10名(58.8%)

## ウ ものづくりコースの設置

### ○姉崎高校の卒業生（コース選択者 8 名）

種 別	人数	割合	主な進路先	(参考) R 元年度 割合* <sup>1</sup>
大 学	0	0%		13.8%
短 大	0	0%		4.4%
専門学校等	1	12.5%	船橋情報ビジネス専門学校（ITエンジニア科）	36.5%
就 職	7	87.5%	住友化学株式会社、君津共同火力株式会社、 デンカ株式会社、株式会社NTT東日本、 株式会社ADEKA、日鉄環境株式会社、 東京電力パワーグリッド	45.3%
そ の 他	0	0%		0%
合 計	8* <sup>2</sup>	100.0%		100.0%

※1 令和元年度の3年生159名に対する割合

※2 コース選択者8名のうち、ものづくり系進路8名（100.0%）

## エ 工業基礎コースの設置

### ○天羽高校の卒業生（コース選択者 14 名）

種 別	人数	割合	主な進路先	(参考) R 元年度 割合* <sup>1</sup>
大 学	0	0%		3.6%
短 大	0	0%		0%
専門学校等	5	35.7%	日本自動車学校袖ヶ浦校2級自動車整備科、 千葉医療福祉専門学校	22.6%
就 職	9	64.3%	黒田精工株式会社富津工場、日鉄環境株式会社東 日本支店、株式会社関電工、日鉄物流君津 株式会社、株式会社峰製作所、君津共同火力 株式会社、住友重機械モダン株式会社、佐川 急便株式会社	64.3%
そ の 他	0	0%		9.5%
合 計	14* <sup>2</sup>	100.0%		100.0%

※1 令和元年度の3年生84名に対する割合

※2 コース選択者14名のうち、工業系進路12名（85.7%）

## オ 福祉コースの設置

### ○犢橋高校の卒業生（コース選択者 20 名）

種 別	人数	割合	主な進路先	(参考) R 元年度 割合* <sup>1</sup>
大 学	6	30.0%	淑徳大学、東都大学、植草学園大学、 人間環境大学、和洋女子大学	20.1%
短 大	2	10.0%	千葉経済短大(こども学科、ビジネスライフ学科)	8.3%
専門学校等	8	40.0%	中央介護福祉専門学校、華学園栄養専門学校、 東京メディカル・スポーツ専門学校、スポーツ 健康医療専門学校、日本自動車大学校 等	40.2%
就 職	3	15.0%	社会福祉法人八千代美香会（介護職）、 （株）荒木水建 等	22.0%
そ の 他	1	5.0%	未定	9.4%
合 計	20* <sup>2</sup>	100.0%		100.0%

※1 令和元年度の3年生 254 名に対する割合

※2 コース選択者 20 名のうち、福祉系進路 12 名（60.0%）  
介護職員初任者研修資格は、コース選択者全員取得



## IV その他

### 再編校の追跡調査について

#### 1 調査の目的

再編により設置したコース等において、大学等卒業後の就業状況について、追跡調査を実施し、再編の効果を検証するとともに、検証結果を踏まえ、生徒にとってより良い学びの場となるよう各学校の取組の支援やコース等の見直しに活用するため。

#### 2 調査対象（平成26年度設置コース）

##### （1）教員基礎コース

千葉女子高校・安房高校（第1～3期生・平成28～30年度卒業）

※第1期生は、昨年度公表した県立学校改革推進プランに係る評価（令和元年度再編実施分）にて掲載された結果に、追加調査分を含んだ結果を掲載

##### （2）医歯薬コース

東葛飾高校（第1期生・平成28年度卒業）

##### （3）医療コース

長狭高校（第1～2期生・平成28～29年度卒業）

### 3 調査結果

#### (1) 教員基礎コース

千葉女子高校・安房高校（第1～3期生・平成28～30年度卒業）

##### 【千葉女子高校】

		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)	第3期生 (平成30年度卒)
調査数		53	41	34
回答数 (回答率)		28 (52.8%)	20 (48.8%)	18 (52.9%)
		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)	第3期生 (平成30年度卒)
進学した生徒		27/28 (96.4%)	20/20 (100%)	18/18 (100%)
進学先で教職課程を履修した生徒 (履修中の者含む)		14/27 (51.9%)	11/20 (55.0%)	14/18 (77.8%)
進学先で教員免許を取得した生徒 (免許取得見込者含む)		13/14 (92.9%)	6/11 (54.5%)	12/14 (85.7%)
教員採用試験(公立)を受験した生徒		6/13 (42.9%)	5/6 (83.3%)	7/12 (58.3%)
教員採用試験(公立)で合格した生徒		5/6 (83.3%)	3/5 (60.0%)	5/7 (71.4%)
現在の職務等	正規採用	県内公立5、県外私立1	県内公立3、県外私立1	県内公立4、県外公立1
	臨任講師	なし	県内公立1	県内公立2
	その他	幼稚園2、保育士1、 児相1、理学療法士1、 養護施設1、公務員1、 民間7、フリーター1、 大学生3、大学院生1、 無回答3	幼稚園1、保育士2、 看護師2、民間5、 大学生4、無回答1	保育士3、栄養士1、 看護師2、公務員1、 民間2、大学生2

##### 【安房高校】

		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)	第3期生 (平成30年度卒)
調査数		18	28	27
回答数 (回答率)		17 (94.4%)	11 (39.3%)	15 (55.6%)
		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)	第3期生 (平成30年度卒)
進学した生徒		17/17 (100%)	10/11 (90.9%)	15/15 (100%)
進学先で教職課程を履修した生徒 (履修中の者含む)		14/17 (82.4%)	7/10 (70.0%)	11/15 (73.3%)
進学先で教員免許を取得した生徒 (免許取得見込者含む)		13/14 (92.9%)	5/7 (71.4%)	11/11 (100%)
教員採用試験(公立)を受験した生徒		9/13 (69.2%)	5/5 (100%)	9/11 (81.8%)
教員採用試験(公立)で合格した生徒		5/9 (55.6%)	1/5 (20.0%)	7/9 (77.8%)
現在の職務等	正規採用	県内公立3、県外公立2	県内公立1、県内私立1	県内公立3、県外公立2
	臨任講師	県内公立4	県内公立3	県内公立2
	その他	保育士1、公務員2、 民間2、大学生1、 無回答2	民間4、大学生2	保育士1、公務員1、 民間3、大学院生3

### <第1期生（平成28年度）卒業生の主な意見>

※第1期生については、昨年度（令和4年度）公表した県立学校改革推進プランに係る評価（令和元年度再編実施分）にて掲載済み

### <第2期生（平成29年度）卒業生の主な意見>

- ・コースを通じて色々な人がいることを学び、人の話を否定せずに受け止めることができるようになったと感じている。
- ・教員採用試験を受ける予定はありませんが、教育に何かしらの形で関われる職業に就きたいと考えている。
- ・小児と関わる際、教員基礎での座学や実習の経験に助けられた。
- ・高校の時点で教職に関する勉強に触れることができ、大学進学の際にもこのようなことをさらに学びたいと考え進学できた。
- ・教員採用試験の際に面接カードに自分のアピールポイントとして高校生から教職を目指していたことの証明になった。
- ・大学内や実習先、アルバイト先など様々なところでの人とのコミュニケーションの取り方や多様性への配慮など、人を思うことの力が生かされたと思う。
- ・教員基礎コースで学んだことは自信につながり、誇りになっています。あの時があったから、今初任者として頑張ることができている。
- ・人前に出て発表する機会が多かったので、すごく練習になった。大学時代発表する機会などが多かったので、そこは生かされている。
- ・教員基礎コースで学んだ知識や実習に行った経験が、大学生活でも糧となって生かされ、現在の就職に繋がっていると思う。
- ・大学時代に参加していたボランティアで、子どもたちと接する機会が多く、その際に教員基礎コースで冬休みに児童館へ実習に行った経験が役立つ場面があった。また、特別支援学校での実習経験が、現在の仕事においてハンディキャップを持つお子様への理解につながっていると感じている。
- ・教員基礎コースで学んだことが、発達心理学の理解の助けになった。
- ・特別支援学校での三日間の研修でダウン症の子どもと関わり、忘れられない経験があった。困難を抱えている児童の支援に携わりたいと強く感じた。
- ・何事にも興味を持つ姿勢、取り組んでみる姿勢を得ることができた。また、社会の中における障害について、普段の生活の中で目を向けるようになった。
- ・元々教職に関心があったのが、教員基礎コースでの講座や千葉女子高校と一緒に大学の発表会などを通してより教職に対するイメージが具体的になったと記憶している。
- ・実際に学校に行ったことで高校生の時から子どもたちと関わることができ、今の子どもたちの実態を知ることができた。
- ・教員基礎コースの仲間で教員になった人と、今でも情報共有をするなどつながりがある。
- ・大学入試、教員採用試験等の面接の話のネタになった。ミニ教育実習のようなものを行っていると思うが、早いうちから教育現場を覗くことができるという点でとても良い機会であったと考える。

### <第3期生（平成30年度）卒業生の主な意見>

- ・教育体験を通して、教育現場を実際に見ることができ、教育についての感心が高まる。
- ・教員基礎で学んだ児童との関わり方などを生かすことが出来ていると感じる。
- ・大学の講義や特別支援学校への実習等は自分自身の視野を広げるきっかけとなった。  
また、その講義で教わったことや教員基礎コースで培った経験が生かされるなど感じることも多く、早い時期から良い経験ができた実感している。
- ・特別支援学校に行った経験から、発達の違いのある子どもへのネガティブな偏見を最初から持たなかった。
- ・積極性が身に付いた。大学受験・就活の面接での強みになった。
- ・近隣の小学校や特別支援学校での実習経験が、大学での授業や教育実習等に生かされたと思う。
- ・大学でどのようなことを学ぶのかのイメージができた。学童・特支へ実習に行けたのが良かった。
- ・特別支援学校で実習したが、大学の教職課程でも特別支援学校で実習する機会があった。  
一度高校で実習した経験があったため、大学ではより積極的に行動しようとしてより意欲的に考えることができた。
- ・幼小中での3日間の実習は進路を選択するきっかけとして非常に生かすことができた。
- ・大学の教職課程では大学職員の講義が多かったので、高校時代に教員基礎コースで様々な外部講師の方のお話を伺うことができたのは良い経験だった。
- ・実際に、学校現場に行って子どもたちの学習を参観したり支援したり休み時間に子どもと触れ合うことを通して、より教職へと進もうとする気持ちがより強くすることができたと感じる。
- ・講義で聞いた内容を教員採用試験の面接で言うことができた。
- ・自分の幼い頃の先生に手紙を書いたり、実習に近いような体験(幼稚園、小学校にて)ができたり、講義が聞けたりと意味があったと思う。高校生の時は自分が目指す職業が実際はどんな内容なのかそこまで分からないまま進路を決めていかなければいけないので、実際に現場を見たことで早めに考え直すことができたり、この進路でがんばろうと自信が持てたりできると思う。
- ・教員採用試験までに何を準備すべきかが理解しやすくなった。

(2) 医歯薬コース

東葛飾高校（第1期生・平成28年度卒業）

【東葛飾高校】

	第1期生 (平成28年度卒)
調査数	40
回答数 (回答率)	20 (50.0%)

		第1期生 (平成28年度卒)
進学先で医療従事者養成課程を履修した生徒		8/20 (40.0%)
医療従事者国家試験を受験した生徒		5/ 8 (62.5%)
医療従事者国家試験で合格した生徒		5/ 5 (100%)
現在の職務等	臨床研修医	県内 2 ・大学附属病院 ・国府台病院
	正規採用	県内 2 ・ウェルシア薬局株式会社 ・公立高校教諭 県外 7 ・厚生労働省 2 ・東ソー株式会社 (研究開発職) ・株式会社明治 (研究職) ・薬剤師 ・MR* ・システムエンジニア
	その他	県外 6 ・株式会社NTTデータ ・PHC株式会社 (電気設計) ・現役医学生 ・大学院 等 無回答 3

(※) MR-(Medical Representative (医薬情報担当者))の略。

病院の医師や調剤を行なう薬剤師の方々に、「自社の薬に関する情報を提供」する仕事。

### <第1期生（平成30年度）卒業生の主な意見>

- ・薬学部ではなかったが、大学院では創薬研究を行っていた。研究を通じ、病気の治療だけでなく予防に貢献したいと感じ、現在は臨床検査機器の開発を行っている。医歯薬コースでの経験が、研究や就職先選択の際に生かされたと思う。
- ・大学の授業での多職種連携のディスカッション等で、医歯薬コースで様々な職種の方の講義を受けていたため、より想像力を働かせて考えることができた。また、卒業研究においても医歯薬研究で結果からの考察を先生方に教えていただいたことが役に立ち、結果考察をその後の研究にどう活かすかを考えられ、教授とのディスカッションを多く重ねられた。
- ・3つのことが特に生かされた。医師の講演から学んだこと（特に医療の現状、課題）は、大学・就職した後も役立っている。病院の見学は大学でチーム医療を理解する時に役立った。年に1回の発表は医療のトピックスを知ることができた。発表内容が医療者との会話や講演に出てくることがある。医歯薬コースは、医療者になりたいという夢を明確にしてくれた。大学進学後に医歯薬コースで学んだことの大切さを実感することが多かった。私は受講してよかった。
- ・医師としての心構えは医歯薬の講座がベースになっている。
- ・当時、自由研究や週末の講座によって医療について興味を深めた。大学では医工学を専攻し、医療機器メーカーでの就職を希望した。就活の際、面接で医歯薬コースでの活動を伝えると、興味を持っていただくことが多く、評価に繋がったと思う。
- ・IT企業なので、スマートシティ周りのインフラ構築をしている。その中で、地域医療との連携を考える際、大いに生かされたと思う。



<医歯薬コース1年生>  
「医療人の適性と倫理観」講座  
(令和5年9月実施) 東葛飾高校に於いて

(3) 医療コース

長狭高校（第1～2期生・平成28～29年度卒業）

【長狭高校】

	第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)
調査数	23	44
回答数(回答率)	12 (52.2%)	17 (38.6%)

		第1期生 (平成28年度卒)	第2期生 (平成29年度卒)
進学先で医療従事者養成課程を履修した生徒		11/12 (91.7%)	13/17 (76.5%)
医療従事者国家試験を受験した生徒		11/11 (100%)	11/13 (84.6%)
医療従事者国家試験で合格した生徒		11/11 (100%)	10/11 (90.9%)
現在の職務等	正規採用	県内10 ・安房保健所(保健師) ・亀田総合病院(臨床検査技師)(看護師4) ・津田沼中央総合病院(臨床検査技師) ・行徳総合病院看護部(看護師) ・管理栄養士 ・理学療法士 県外1 ・看護師	県内9 ・亀田総合病院(看護師) ・安房地域医療センター(看護師、細胞検査士 <sup>※</sup> ) ・亀田メディカルセンター(作業療法士) ・新松戸中央総合病院(理学療法士) ・三芳病院(職種不明) ・勤務先不明(介護職、看護師) ・無回答 県外5 ・順天堂大学医学部付属順天堂病院(看護師) ・鍼灸師 ・理学療法士 ・看護師 ・無回答
	非常勤職員	なし	県内1 ・さつき台病院(袖ヶ浦市)
	その他	不明1(トリマー兼動物看護師)	県内2 ・アルバイト ・学生6年生(薬学部在籍)

(※) 細胞検査士…医師が採取した人体の細胞の一部を顕微鏡で観察し、がん細胞等の異常細胞を早期に発見する仕事。他にも標本の作製や保存といった業務も行う。

### <第1期生（平成28年度）卒業生の主な意見>

- ・実際に病院に行き、興味のある職種の見学ができるのは進学を決めるのにとっても良いと感じた。
- ・医療コースに在籍して学んだ事で、学習や実習を通し自分の適性を知る機会となり現在の職業に就くことが出来た。
- ・医療コースの実習で、希望の職種だけでなく、幅広い医療職種者の見学、学習をしたことによって多職種がどのような動きをしているのか理解し、働けている。
- ・それぞれの専門職の仕事内容を知ることができ、進学や就職に生かすことができた。

### <第2期生（平成29年度）卒業生の主な意見>

- ・高校のうちから病院見学など出来たため、大学進学や就職後の参考になった。
- ・職種の大まかな雰囲気や特徴が知れたので職種選びの参考になった。
- ・高校生の頃、看護師を考えていたが、医療コースに入りさまざまな職種の方と話す機会や体験することで自分に合う職業を選べたと思う。細胞検査士という方と高校生の頃に出会えたからこそ今、細胞検査士として働くことができていると思う。
- ・看護師以外の職種の体験も出来た為、それぞれの職種がどのような役割で働いているのかがわかってよかった。
- ・病院見学ができたことで、自分の目標が明確になった。その中で、看護部はもちろんのこと、看護師をしていただけではなかなか見ることができない薬剤部や検査部など、ほかの部署を見ることができたことは、とてもよかったと思う。



<医療コース3年生>  
亀田総合病院にて「シャドー実習」(※)  
(令和5年8月実施)

---

(※) シャドー実習…医療専門職の後ろにつき、1日影のように一緒に過ごすこと。その中で、自分自身が目指している職種に対する適性判断や職業観の育成を目指す。





